

鳥取市健康とくらしの調査実施及び見える化システム作成等業務

健康とくらしの調査 報告書

令和8年3月

鳥取市

一般社団法人日本老年学的評価研究機構

目次

1. はじめに.....	1
2. 本報告書を読む際の注意.....	1
3. 調査実施の概要.....	2
4. 集計数・集計項目・回答の修正方法について.....	2
5. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワーク.....	9
6. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワークの小地域間比較.....	29
7. 保険者独自項目の調査結果.....	39
(資料) 基礎集計表.....	63

1. はじめに

本邦では、2040年に向けて生産年齢人口の減少が続く一方、85歳以上人口は急速に増加し、地域の支える力が相対的に弱まること懸念されている。これにより、高齢者の急増だけでなく、独居・老老世帯の増加、生活機能の低下、慢性疾患の複合化など、地域の抱える課題は一段と複雑化している。特に、団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年以降、地域で暮らし続けるための「予防」と「支え合い」の重要性はこれまで以上に高まっている。

このような背景のもと、国は「地域包括ケアシステムの深化・推進」と「地域共生社会の実現」を車の両輪として、住まい・介護・医療・予防・生活支援を一体的に提供する体制整備を進めている。令和7年度の介護保険制度においても、フレイル・要介護化予防の重点化、総合事業の柔軟な運用強化、生活支援体制整備の拡充、アウトカム評価（自立支援・重度化防止指標）の導入など、地域の実情に応じた支援の再構築が求められている。さらに、生産年齢人口が減少するなか、住民が長く地域で暮らし続けられるよう、介護予防・フレイル予防と健康増進を一体的にとらえた包括的アプローチが不可欠となっている。地域住民の「通いの場」や参加型の予防活動の充実、各種社会資源の連携強化、多職種協働による支援体制の構築は、地域包括ケアの実装化に向けた重要な基盤である。加えて、地域での支え合いを促す「地域づくり」や「地域デザイン」も、制度による支援だけでは補えない生活上のニーズに応えるための鍵となる。特に、介護保険制度に位置づけられた重度化防止・自立支援に向けては、住民主体の活動や地域のインフォーマル資源との連携が以前にも増して重要視されている。

本報告書は、日本老年学的評価研究（JAGES）の研究知見を基盤とし、特に介護予防や地域づくりの最新政策動向を踏まえて分析を行い、その成果を整理したものである。

2. 本報告書を読む際の注意

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率（%）を表記し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合がある。また、一人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問（複数回答）では、回答率が通常100.0%を上回る。
- (2) 調査結果の分析記述においては、誤差を考慮し、回答者数が30人未満の場合は、分析の対象からは除いている。また、本報告書全体について、分析記述の基本的考え方は、7頁の「4.（4）分析記述の基本的考え方」を参照。
- (3) 分析記述やグラフ・数表上で次の略称を使用している。
 - n：回答者の数
 - －：回答者がいないもの
 - 0.0：表章単位に満たないが、回答者がいるもの
- (4) 「7. 保険者独自項目の調査結果」及び「（資料）基礎集計表」においては、スペースの都合上、調査票の質問文や選択肢を一部短縮している部分がある。

3. 調査実施の概要

調査対象者：令和7年9月30日時点¹で65歳以上である高齢者

対象者数：10,800人

調査方法：郵送法

調査期間：令和7年11月17日～令和7年12月8日²

回収結果（回収率）：8,057票（74.6%）

4. 集計数・集計項目・回答の修正方法について

（1）集計数及び集計についての注意

投函締切の1ヶ月後までに保険者に返送された調査票のうち、調査票IDを切り取って返送された調査票は集計対象外とし、それ以外を有効票とした。属性クロス分析に用いる対象者の年齢と性別は、調査対象者データを基に集計を行った。なお、調査対象者に要支援者、事業対象者を含んでいる保険者があるが³、本報告書ではこれらの対象者の回答も合わせて集計している。そのため、調査結果の分析の「同規模保険者」全体の集計値との比較を読む際は留意する必要がある。回収数と集計数の結果は以下のとおりである。

市町村	回収数	集計数
鳥取市	8,057	7,994

¹ この基準日は鳥取市が調査対象者の抽出を行った日であり、自治体によってそれぞれ異なる。

² 本調査は64介護保険者74市町村が参加し、10月6日～12月22日の調査期間を3分割して実施された。

³ 「同規模保険者」の調査対象者の詳細は8頁の「4.（5）各保険者の調査対象者」を参照。

(2) 各集計項目 (20 項目) の定義

各集計項目の定義は以下のとおりである。

各集計項目分析は、同規模保険者の集計値との比較を中心に行った。

「要介護リスク」

指標名	設問項目
①フレイルあり 割合 (基本チ ェックリスト 8 項目以上) ※25 項目中 8 項目以上 該当	問 2 (1) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。⇒1. はい
	問 2 (2) お茶や汁物などでむせることがありますか。⇒1. はい
	問 2 (3) 口の渇きが気になりますか。⇒1. はい
	問 3 (1) あなたが外出する頻度はどのくらいですか (畑や隣近所へ行く、買い物、通院などを含みます)。⇒5. 月 1～3 回 or 6. 年に数回 or 7. していない
	問 3 (2) 昨年と比べて外出の回数は減っていますか。 ⇒1. とても減っている or 2. 減っている
	問 3 (4) 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。⇒1. 何度もある or 2. 1 度ある
	問 3 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。 ⇒1. とても不安である or 2. やや不安である
	問 3 (6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。⇒3. できない
	問 3 (7) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 ⇒3. できない
	問 4 (1) バスや電車を使って 1 人で外出していますか (自家用車でも可)。 ⇒3. できない
	問 4 (2) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。⇒3. できない
	問 4 (5) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。⇒3. できない
	問 4 (10) 友達の家を訪ねることがありますか。⇒2. いいえ
	問 4 (11) 家族や友だちの相談にのることがありますか。⇒2. いいえ
	問 4 (14) 15 分位続けて歩いていますか。⇒3. できない
	問 4 (15) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるといわれますか。 ⇒1. はい
	問 4 (16) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。⇒2. いいえ
	問 4 (17) 今日が何月何日かわからない時がありますか。⇒1. はい
	問 9 (16) (ここ 2 週間) 毎日の生活に充実感がない。⇒1. はい
	問 9 (17) (ここ 2 週間) これまで楽しんでやれたことが楽しめなくなった。⇒1. はい
問 9 (18) (ここ 2 週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。 ⇒1. はい	
問 9 (19) (ここ 2 週間) 自分が役に立つ人間だとは思えない。⇒1. はい	
問 9 (20) (ここ 2 週間) わけもなく疲れたような感じがする。⇒1. はい	
問 11 (4) あなたの現在の身長と体重を教えてください (おおよその数値で結構です)。 ⇒BMI=18.5 未満	
問 11 (5) この半年間に体重が 2～3 kg 以上減少しましたか。⇒1. はい	

②運動機能低下者割合（基本チェックリスト） ※5項目中3項目以上該当	問3(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。⇒1. 何度もある or 2. 1度ある	
	問3(5)	転倒に対する不安は大きいですか。 ⇒1. とても不安である or 2. やや不安である	
	問3(6)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。⇒3. できない	
	問3(7)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 ⇒3. できない	
	問4(14)	15分位続けて歩いていますか。⇒3. できない	
③1年間の転倒あり割合	問3(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。⇒1. 何度もある or 2. 1度ある	
④物忘れが多い者の割合	問4(18)	物忘れが多いと感じますか。⇒1. はい	
⑤閉じこもり者割合	問3(1)	あなたが外出する頻度はどのくらいですか（畑や隣近所へ行く、買い物、通院などを含みます）。⇒5. 月1～3回 or 6. 年に数回 or 7. していない	
⑥うつ割合（基本チェックリスト） ※5項目中2項目以上該当	問9(16)	（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない。⇒1. はい	
	問9(17)	（ここ2週間）これまで楽しんでやれたことが楽しめなくなった。⇒1. はい	
	問9(18)	（ここ2週間）以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。 ⇒1. はい	
	問9(19)	（ここ2週間）自分が役に立つ人間だとは思えない。⇒1. はい	
	問9(20)	（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする。⇒1. はい	
⑦口腔機能低下者割合（基本チェックリスト） ※3項目中2項目以上該当	問2(1)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。⇒1. はい	
	問2(2)	お茶や汁物などでむせることがありますか。⇒1. はい	
	問2(3)	口の渇きが気になりますか。⇒1. はい	
⑧低栄養の傾向割合	問11(4)	あなたの現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）。 ⇒BMI=18.5未満	
⑨要支援・要介護リスク点数（平均点） ※合計得点の平均点	以下の条件で付与した点数の合計（最小0点～最大47点）		
	調査対象者データ		
	「性別」	男性⇒1点	
	「年齢」	65-66歳⇒0点 67-68歳⇒1点 69歳 ⇒3点 70歳⇒4点 71歳 ⇒6点 72歳 ⇒7点 73歳 ⇒9点 74歳⇒10点 75-76歳⇒12点 77歳 ⇒13点 78歳 ⇒14点 79歳⇒15点 80歳 ⇒17点 81歳 ⇒18点 82-83歳⇒19点 84-85歳⇒21点 86-87歳⇒22点 88-89歳⇒23点 90歳以上⇒24点	
	設問項目	点数	
	問3(2)	昨年と比べて外出の回数は減っていますか。 ⇒1. とても減っている or 2. 減っている	3点
	問3(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。⇒1. 何度もある or 2. 1度ある	2点
	問3(5)	転倒に対する不安は大きいですか。 ⇒1. とても不安である or 2. やや不安である	2点
	問3(6)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。 ⇒2. できるけど、していない or 3. できない	3点
	問3(7)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 ⇒2. できるけど、していない or 3. できない	2点

	問 4(1)	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。 ⇒3. できない	2点
	問 4(2)	自分で食品・日用品の買い物をしていますか。⇒3. できない	3点
	問 4(5)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。⇒3. できない	2点
	問 4(14)	15分位続けて歩いていますか。 ⇒2. できるけど、していない or 3. できない	1点
	問 11(4)	あなたの現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）。⇒BMI=18.5未満	3点
指標名	設問項目		
⑩認知機能低下者割合（基本チェックリスト） ※3項目中1項目以上該当	問 4(15)	周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるといわれますか。 ⇒1. はい	
	問 4(16)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。⇒2. いいえ	
	問 4(17)	今日が何月何日かわからない時がありますか。⇒1. はい	
⑪IADL（自立度）低下者（1項目以上）割合 ※5項目中1項目以上該当	問 4(1)	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。 ⇒3. できない	
	問 4(2)	自分で食品・日用品の買い物をしていますか。⇒3. できない	
	問 4(3)	自分で食事の用意をしていますか。⇒3. できない	
	問 4(4)	自分で請求書の支払いをしていますか。⇒3. できない	
	問 4(5)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。⇒3. できない	
⑫幸福感がある者の割合 (8/10点以上)	問 11(6)	あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点としてご記入ください） ⇒8点 or 9点 or 10点	

「就労」

指標名	設問項目		
⑬就労していない者の割合	問 14(1)	現在のあなたの就労状態はどれですか。（あてはまるものすべてに○） ⇒1. 職に就いたことがない or 2. 引退した or 6. 求職中 のみに回答	

「社会参加」

指標名	設問項目		
⑭ボランティア参加者（月1回以上）割合	問 5(1)-1	ボランティアのグループ ⇒1. 週4回以上 or 2. 週2~3回 or 3. 週1回 or 4. 月1~3回	
⑮スポーツの会参加者（月1回以上）割合	問 5(1)-2	スポーツ関係のグループやクラブ ⇒1. 週4回以上 or 2. 週2~3回 or 3. 週1回 or 4. 月1~3回	
⑯趣味の会参加者（月1回以上）割合	問 5(1)-3	趣味関係グループ ⇒1. 週4回以上 or 2. 週2~3回 or 3. 週1回 or 4. 月1~3回	
⑰学習・教養サークル参加者（月1回以上）割合	問 5(1)-6	学習・教養サークル ⇒1. 週4回以上 or 2. 週2~3回 or 3. 週1回 or 4. 月1~3回	
⑱通いの場参加者（月1回以上）割合	問 5(1)-7	健康体操やサロンなどの介護予防のための通いの場 ⇒1. 週4回以上 or 2. 週2~3回 or 3. 週1回 or 4. 月1~3回	
⑲特技や経験を他者に伝える活動参加者（月1回以上）割合	問 5(1)-8	特技や経験を他者に伝える活動 ⇒1. 週4回以上 or 2. 週2~3回 or 3. 週1回 or 4. 月1~3回	

「社会的ネットワーク」

指標名	設問項目
⑳友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合	問6(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。 ⇒1. 毎日 or 2. 週4~6回 or 3. 週2~3回 or 4. 週1回 or 5. 月1~3回

(3) 回答内容の修正について

集計では出来る限り対象者の回答を有効となるよう集計した。但し、集計を行うにあたり、修正等が必要な場合は修正処理を行った。主な修正内容は以下のとおりである。

設問番号・設問内容	修正処理内容
問11(4) あなたの現在の身長と体重を教えてください(おおよその数値で結構です)。 ※[身長]〇m〇〇cm と回答 ※[体重]〇〇〇kg と回答	[身長] ● 1メートル未満や2メートル以上の回答は異常値と判断し、集計から除外した。 [体重] ● 20kg 未満や 120kg 以上の回答は異常値と判断し、集計から除外した。 ● 小数点以下まで記入されたものは、小数点以下を四捨五入し、整数の体重に修正した。 (例)45.5kg→46kg
問11(8) あなたは今住んでいるところのどのくらいの間住んでいますか。 ※約〇年 と回答	● 「〇ヶ月」と回答された票について、6カ月以上の場合は「1年」とした。6か月未満の回答の場合は、「0(ゼロ)年」とした。
問13(2) 家族構成を教えてください。 ※以下の選択肢から回答 1. 一人暮らし 2. 夫婦二人暮らし(配偶者 65歳以上) 3. 夫婦二人暮らし(配偶者 64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他(3世帯を含む)	● 「1.一人暮らし」と回答し、かつ、問13(3)で世帯人数を2人以上と回答した場合は、回答を削除した。 ● 「1.一人暮らし」と回答し、かつ、問13(3)で選択肢2-12のいずれかが回答した場合は、回答を削除した。 ● 「2. 夫婦二人暮らし(配偶者 65歳以上)」と「4. 息子・娘との2世帯」の複数回答の場合、問13(3)の同居者を確認し、配偶者と息子・娘のみの世帯のときは、「4. 息子・娘との2世帯」に修正した。
問13(3) ご自身を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか(すべてに〇)。 ※世帯人数を〇人 と回答し、同居者は以下の選択肢から回答 1. いない 2. 配偶者(夫・妻) 3. 息子 4. 娘 5. 子の配偶者 6. 孫 7. 兄弟・姉妹 8. 自分の父 9. 自分の母 10. 配偶者の父 11. 配偶者の母 12. その他	● 「0(ゼロ)人」と回答があった場合には、同居者選択肢の回答を確認のうえ「1人」とした。 ● 「1人」と回答し、かつ、「2 配偶者(夫・妻)」のみを選択した場合は、人数を「2人」に修正した。 ● 選択肢2~12についた〇の数≤世帯人数であれば、世帯人数=〇の数+1 に修正した。 ● 同居者選択肢に回答がなく、かつ、問13(2)で「2. 夫婦二人暮らし(配偶者 65歳以上)」または「3. 夫婦二人暮らし(配偶者 64歳以下)」を回答していた場合、「2. 配偶者(夫・妻)」を追加した

<p>[全般] 主設問と付問がある場合 (例) 問 14(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか(あてはまるすべてに○)。 1. 職に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤 4. 非常勤 5. 自営業 6. 求職中 7. その他 問 14(2) あなたはいつ引退しましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 主設問が「無回答」で、付問が「回答有り」の場合、記入が漏れたとみなして回答コードを追加した。ただし、付問に進行する選択肢が複数ある場合は、修正を行わない。 <p>(例) 問 14(1)が「無回答」で、問 14(2)に回答があった場合は、問 14(1)に「2. 引退した」の回答を追加した。</p>
---	--

(4) 分析記述の基本的考え方

同規模保険者の集計値との比較を中心に分析記述を行っており、回答差が比較的大きい項目を分析記述の対象としている。記述の目安は下表のとおりである。

	同規模保険者 平均	記述なし	やや 高い/低い	高い/低い	とても 高い/低い
① フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	18.3	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
② 運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	9.3	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
③ 1年間の転倒あり割合	27.5	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
④ 物忘れが多い者の割合	37.9	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑤ 閉じこもり者割合	4.1	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑥ うつ割合(基本チェックリスト)	27.6	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑦ 口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)	20.9	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑧ 低栄養の傾向割合	8.9	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑨ 要支援・要介護リスク点数(平均点)	17.0	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑩ 認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	33.5	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑪ IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	9.4	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑫ 幸福感がある者の割合(8/10点以上)	49.7	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑬ 就労していない者の割合	65.3	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑭ ボランティア参加者(月1回以上)割合	12.3	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑮ スポーツの会参加者(月1回以上)割合	26.3	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑯ 趣味の会参加者(月1回以上)割合	26.9	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑰ 学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	8.5	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑱ 通いの場参加者(月1回以上)割合	10.8	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑲ 特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	5.8	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑳ 友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合	64.4	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上

(5) 各保険者の調査対象者

比較の対象となる同規模保険者の調査対象者は下表のとおりである。

保険者名	対象者属性
八戸市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
さいたま市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
市川市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
松戸市	一般高齢者
柏市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
市原市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
町田市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
横浜市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
新潟市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
甲府市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
名古屋市	一般高齢者
豊中市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
鳥取市	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者

※2025 年度人口が 15 万以上の保険者。

5. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワーク

(1) 要介護リスク：フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「80-84歳」で高く、「85歳以上」でとても高くなっている。

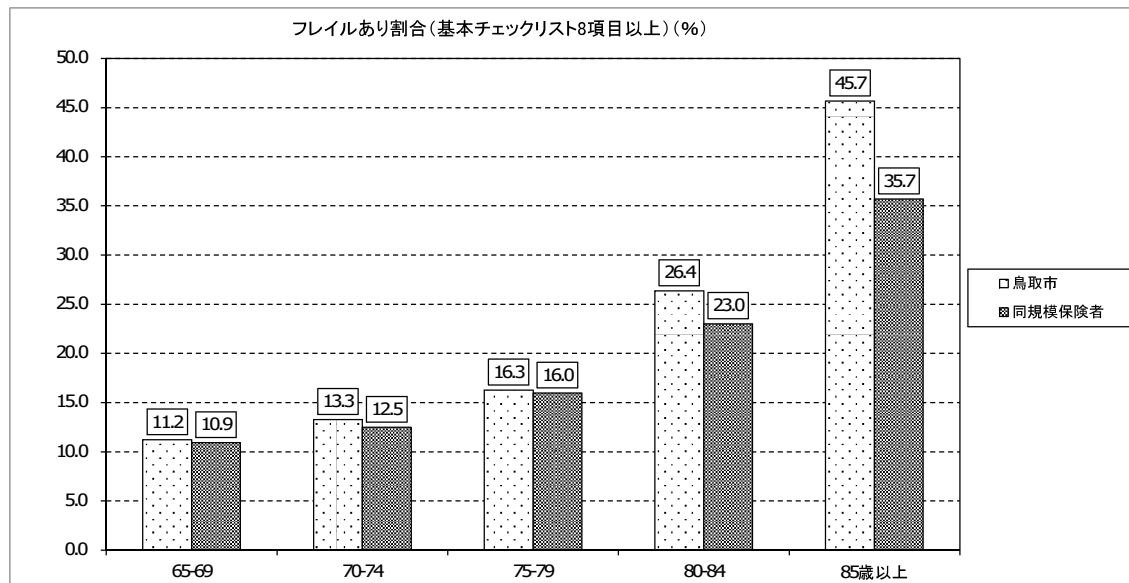


図1 フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

「要介護リスク」： フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,592	179	268	339	322	484
	%	19.9	11.2	13.3	16.3	26.4	45.7
	サンプル数	7,981	1,597	2,019	2,084	1,221	1,060
同規模保険者	人数	17,290	1,902	2,469	4,096	4,324	4,499
	%	18.3	10.9	12.5	16.0	23.0	35.7
	サンプル数	94,265	17,420	19,785	25,673	18,787	12,600

表1 フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

(2) 要介護リスク：運動機能低下者割合（基本チェックリスト）

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『運動機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「65-69歳」でやや高く、「70-74歳」、「75-79歳」で高く、「80-84歳」、「85歳以上」でとても高くなっている。

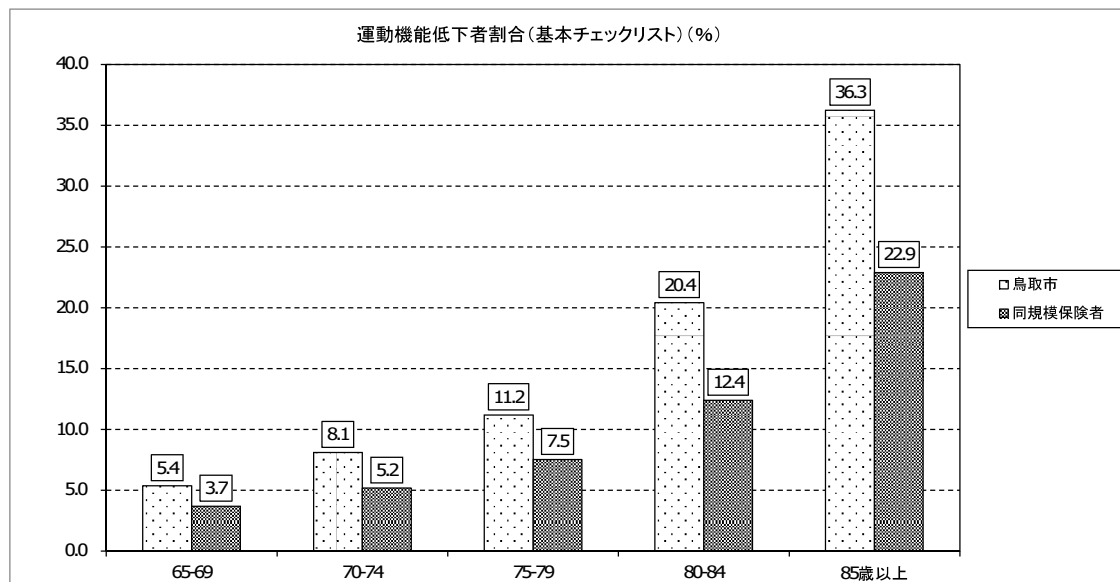


図2 運動機能低下者割合（基本チェックリスト）

「要介護リスク」： 運動機能低下者割合（基本チェックリスト）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,099	85	162	231	244	377
	%	14.0	5.4	8.1	11.2	20.4	36.3
	サンプル数	7,878	1,583	1,998	2,062	1,195	1,040
同規模保険者	人数	8,688	638	1,010	1,908	2,293	2,839
	%	9.3	3.7	5.2	7.5	12.4	22.9
	サンプル数	92,963	17,230	19,521	25,312	18,503	12,397

表2 運動機能低下者割合（基本チェックリスト）

(3) 要介護リスク：1年間の転倒あり割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『1年間の転倒あり割合』は「65-69歳」でやや高く、「70-74歳」、「75-79歳」で高く、「80-84歳」、「85歳以上」でとても高くなっている。

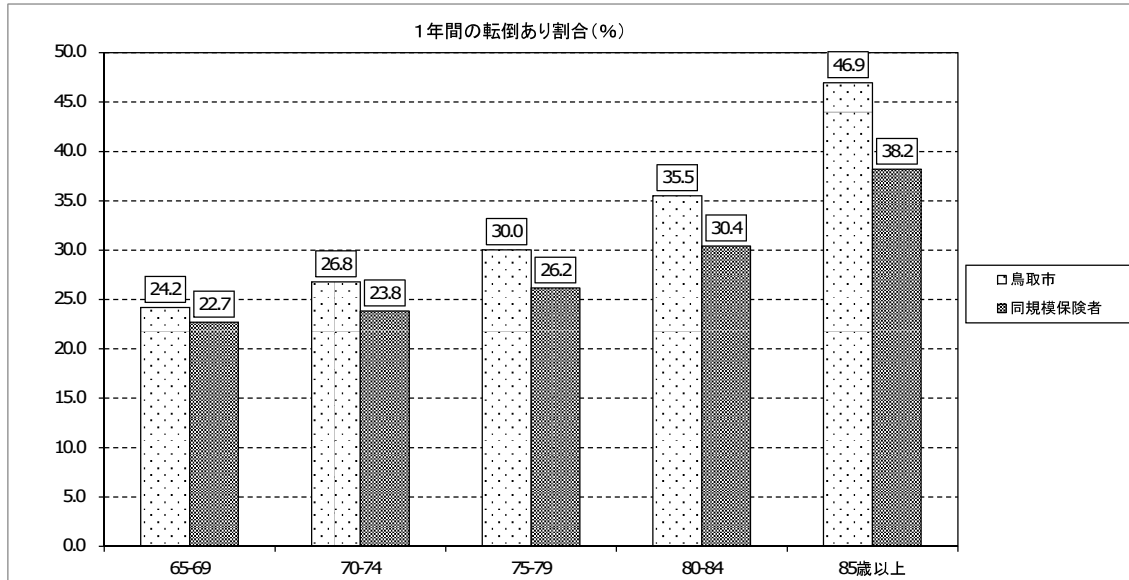


図3 1年間の転倒あり割合

「要介護リスク」： 1年間の転倒あり割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	2,444	383	534	619	424	484
	%	31.1	24.2	26.8	30.0	35.5	46.9
	サンプル数	7,862	1,583	1,994	2,060	1,194	1,031
同規模保険者	人数	25,476	3,907	4,641	6,608	5,610	4,710
	%	27.5	22.7	23.8	26.2	30.4	38.2
	サンプル数	92,726	17,208	19,477	25,264	18,442	12,335

表3 1年間の転倒あり割合

(4) 要介護リスク：物忘れが多い者の割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『物忘れが多い者の割合』は「65-69歳」でやや高く、「75-79歳」、「80-84歳」で高く、「70-74歳」、「85歳以上」でとても高くなっている。

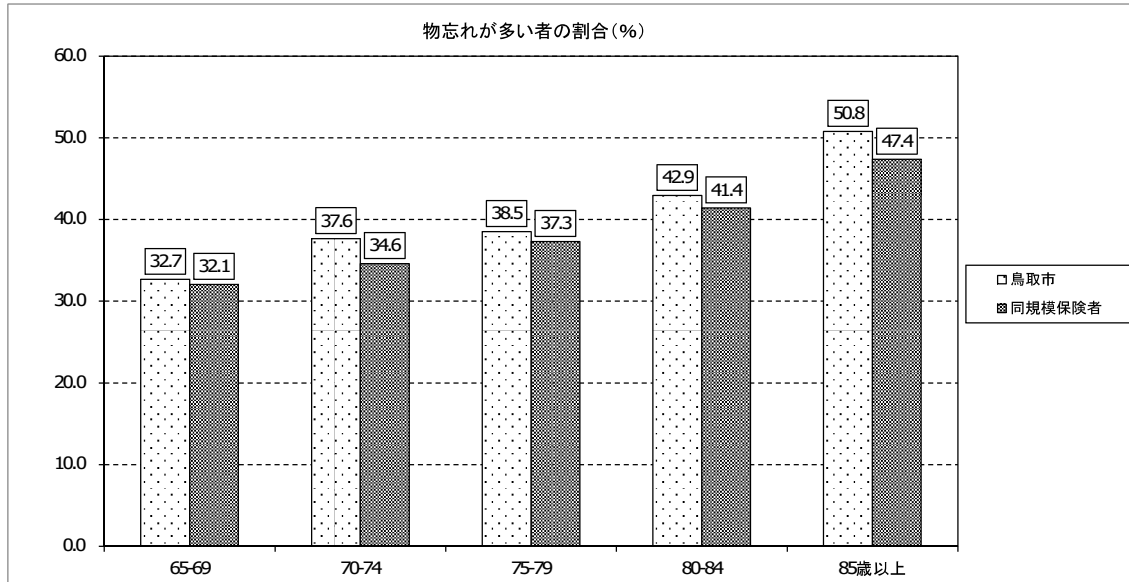


図4 物忘れが多い者の割合

「要介護リスク」： 物忘れが多い者の割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	3,060	514	745	784	504	513
	%	39.4	32.7	37.6	38.5	42.9	50.8
	サンプル数	7,773	1,574	1,979	2,036	1,174	1,010
同規模保険者	人数	34,873	5,501	6,708	9,347	7,560	5,757
	%	37.9	32.1	34.6	37.3	41.4	47.4
	サンプル数	92,016	17,159	19,389	25,057	18,257	12,154

表4 物忘れが多い者の割合

(5) 要介護リスク：閉じこもり者割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『閉じこもり者割合』は「80-84歳」でやや高く、「85歳以上」でとても高くなっている。

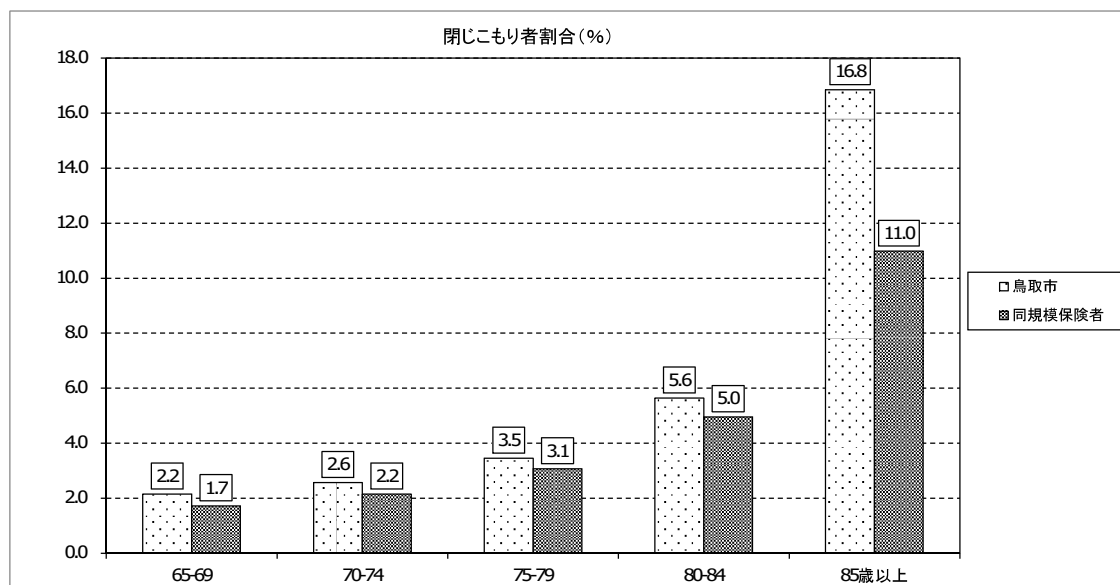


図5 閉じこもり者割合

「要介護リスク」： 閉じこもり者割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	395	34	51	71	67	172
	%	5.0	2.2	2.6	3.5	5.6	16.8
	サンプル数	7,834	1,581	1,987	2,057	1,188	1,021
同規模保険者	人数	3,757	297	419	775	914	1,352
	%	4.1	1.7	2.2	3.1	5.0	11.0
	サンプル数	92,688	17,213	19,485	25,250	18,423	12,317

表5 閉じこもり者割合

(6) 要介護リスク：うつ割合（基本チェックリスト）

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『うつ割合（基本チェックリスト）』は「70-74歳」でやや高く、「80-84歳」で高く、「85歳以上」でとても高くなっている。

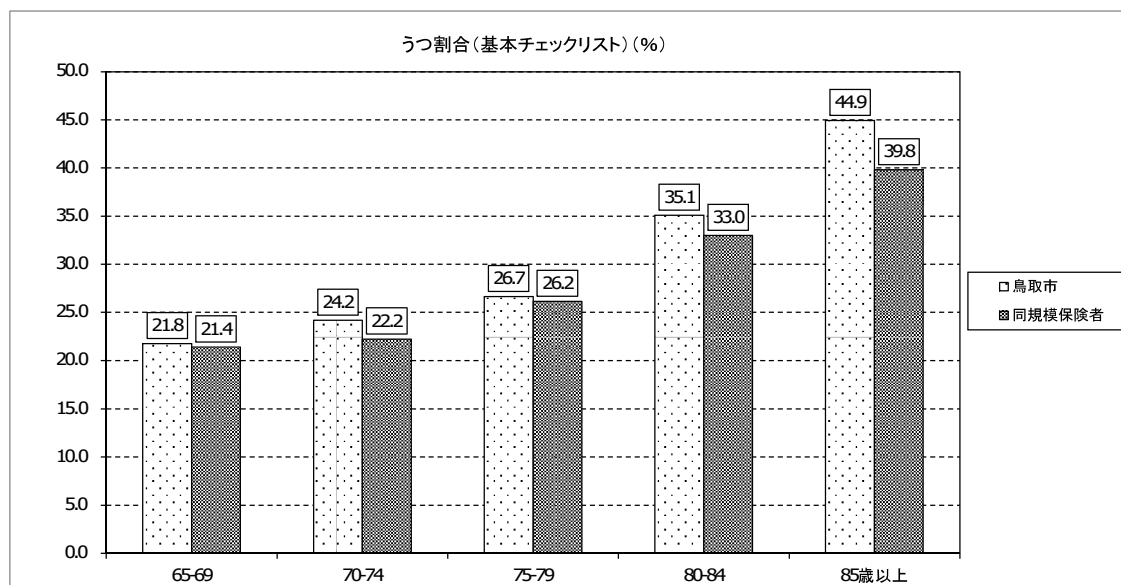


図6 うつ割合（基本チェックリスト）

「要介護リスク」： うつ割合（基本チェックリスト）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	2,245	344	482	544	417	458
	%	28.7	21.8	24.2	26.7	35.1	44.9
	サンプル数	7,821	1,580	1,993	2,041	1,188	1,019
同規模保険者	人数	25,648	3,696	4,349	6,626	6,084	4,893
	%	27.6	21.4	22.2	26.2	33.0	39.8
	サンプル数	92,856	17,252	19,552	25,331	18,433	12,288

表6 うつ割合（基本チェックリスト）

(7) 要介護リスク：口腔機能低下者割合（基本チェックリスト）

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『口腔機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「85歳以上」で高い。「70-74歳」、「80-84歳」でやや低くなっている。

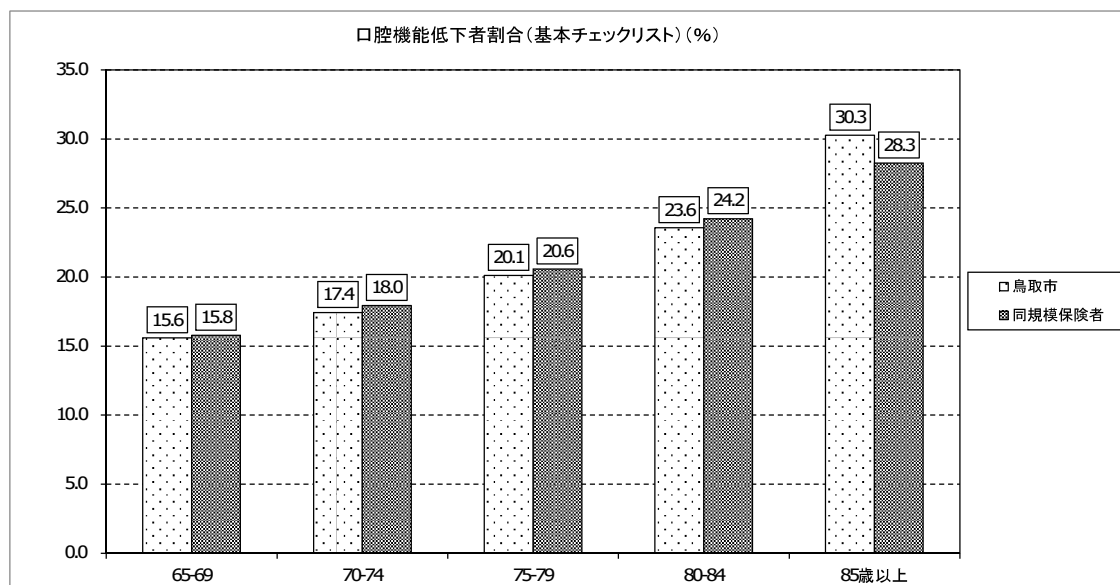


図7 口腔機能低下者割合（基本チェックリスト）

「要介護リスク」： 口腔機能低下者割合（基本チェックリスト）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,601	247	348	414	280	312
	%	20.4	15.6	17.4	20.1	23.6	30.3
	サンプル数	7,856	1,583	1,996	2,058	1,188	1,031
同規模保険者	人数	19,388	2,721	3,500	5,204	4,474	3,489
	%	20.9	15.8	18.0	20.6	24.2	28.3
	サンプル数	92,826	17,232	19,497	25,287	18,467	12,343

表7 口腔機能低下者割合（基本チェックリスト）

(8) 要介護リスク：低栄養の傾向割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『低栄養の傾向割合』は「70-74歳」、「85歳以上」でやや高い。「65-69歳」でやや低くなっている。

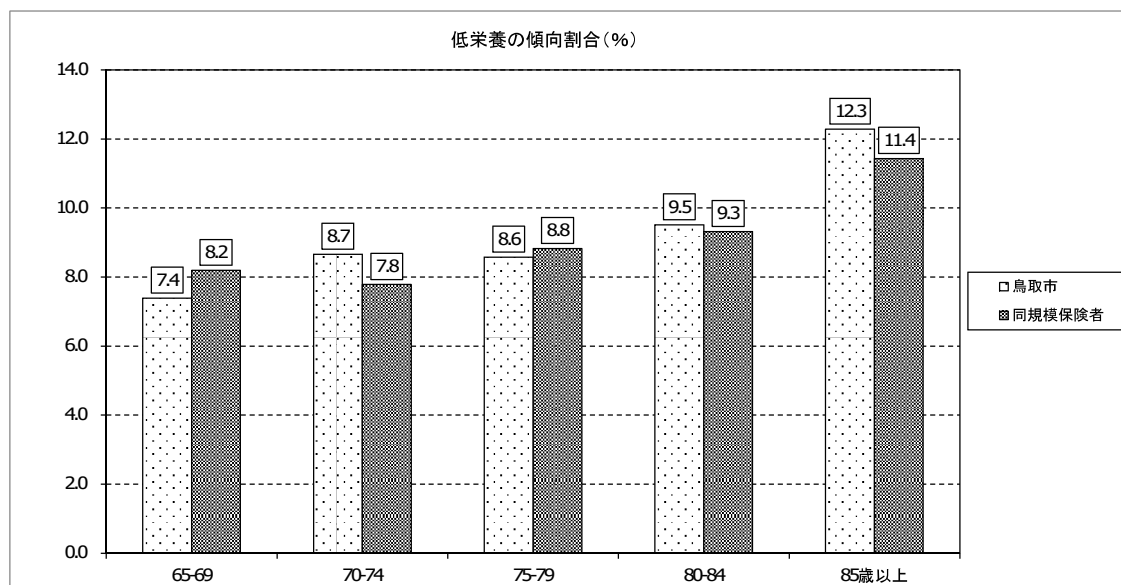


図8 低栄養の傾向割合

「要介護リスク」： 低栄養の傾向割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	691	115	172	174	111	119
	%	9.0	7.4	8.7	8.6	9.5	12.3
	サンプル数	7,707	1,556	1,986	2,029	1,167	969
同規模保険者	人数	8,197	1,400	1,516	2,225	1,697	1,359
	%	8.9	8.2	7.8	8.8	9.3	11.4
	サンプル数	91,874	17,095	19,474	25,209	18,212	11,884

表8 低栄養の傾向割合

(9) 要介護リスク：要支援・要介護リスク点数（平均点）

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『要支援・要介護リスク点数（平均点）』は「70-74歳」、「80-84歳」でやや高く、「85歳以上」で高くなっている。

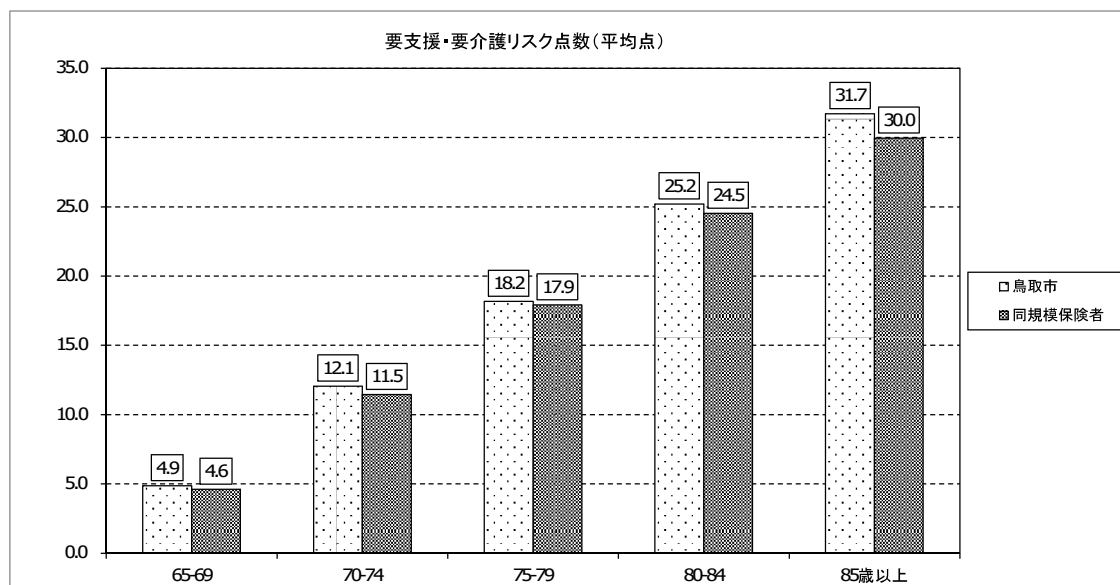


図9 要支援・要介護リスク点数（平均点）

「要介護リスク」： 要支援・要介護リスク点数（平均点）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	平均点	16.9	4.9	12.1	18.2	25.2	31.7
	サンプル数	7,994	1,601	2,019	2,084	1,227	1,063
同規模保険者	平均点	17.0	4.6	11.5	17.9	24.5	30.0
	サンプル数	94,371	17,441	19,803	25,696	18,809	12,622

表9 要支援・要介護リスク点数（平均点）

(10) 要介護リスク：認知機能低下者割合（基本チェックリスト）

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『認知機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「65-69歳」でやや高く、「70-74歳」で高く、「85歳以上」でとても高い。「75-79歳」でやや低くなっている。

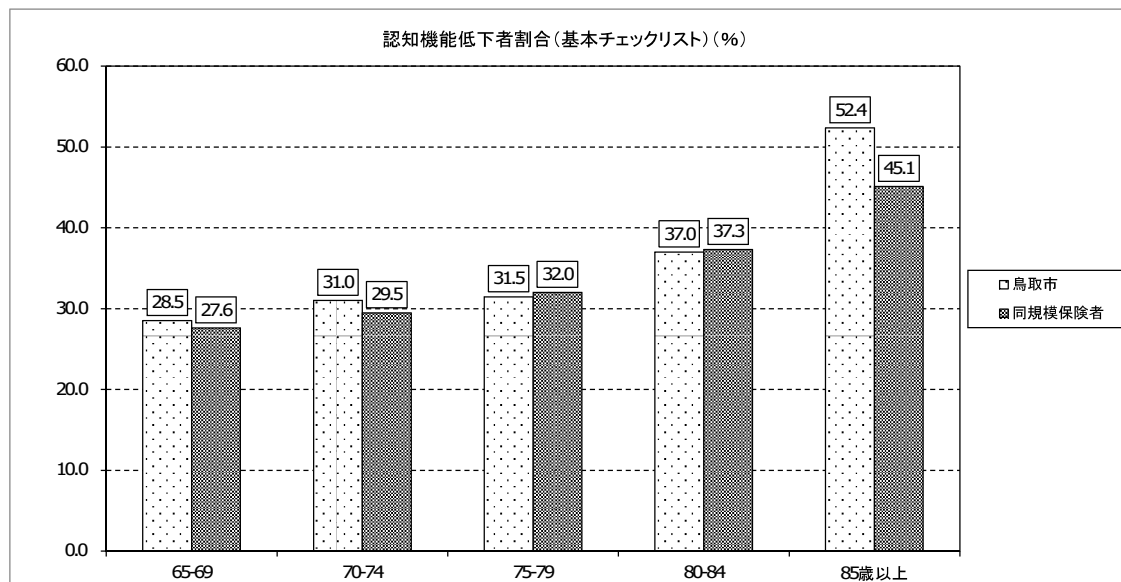


図 10 認知機能低下者割合（基本チェックリスト）

「要介護リスク」： 認知機能低下者割合（基本チェックリスト）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	2,707	451	619	649	443	545
	%	34.4	28.5	31.0	31.5	37.0	52.4
	サンプル数	7,877	1,582	1,995	2,062	1,197	1,041
同規模保険者	人数	31,133	4,760	5,757	8,107	6,910	5,599
	%	33.5	27.6	29.5	32.0	37.3	45.1
	サンプル数	93,008	17,238	19,520	25,320	18,520	12,410

表 10 認知機能低下者割合（基本チェックリスト）

(11) 要介護リスク：IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合』は「65-69歳」、「70-74歳」でやや高く、「75-79歳」で高く、「80-84歳」、「85歳以上」でとても高くなっている。

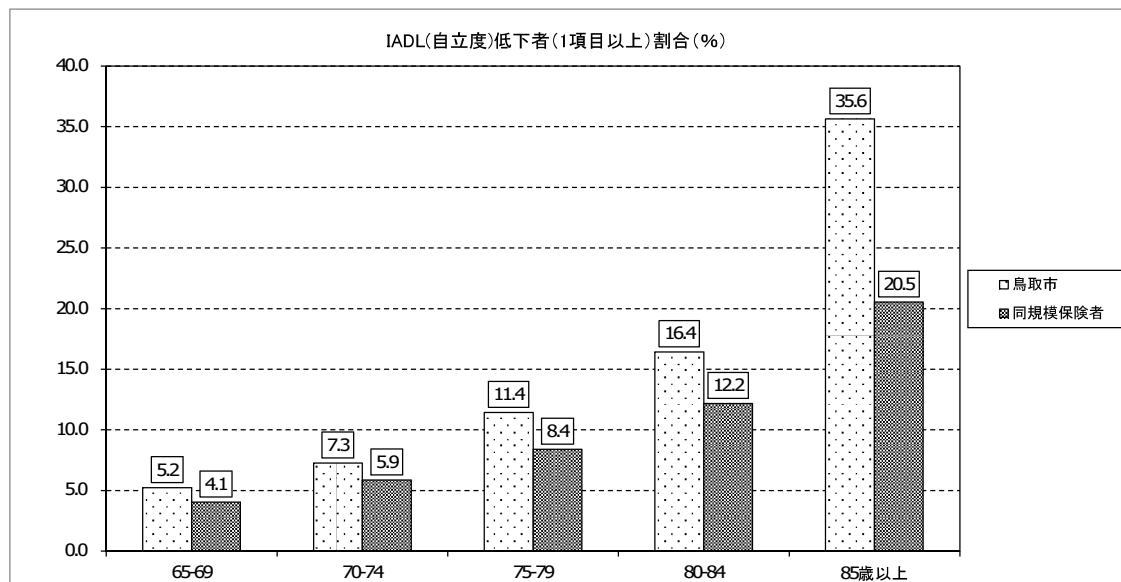


図 11 IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合

「要介護リスク」： IADL(自立度)低下者（1項目以上） 割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,032	83	145	236	197	371
	%	13.1	5.2	7.3	11.4	16.4	35.6
	サンプル数	7,882	1,583	1,998	2,062	1,198	1,041
同規模保険者	人数	8,778	699	1,146	2,130	2,255	2,548
	%	9.4	4.1	5.9	8.4	12.2	20.5
	サンプル数	93,022	17,240	19,527	25,323	18,523	12,409

表 11 IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合

(12) 要介護リスク：幸福感がある者の割合（8/10点以上）

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『幸福感がある者の割合（8/10点以上）』は「80-84歳」でやや低く、「65-69歳」から「75-79歳」、「85歳以上」でとても低くなっている。

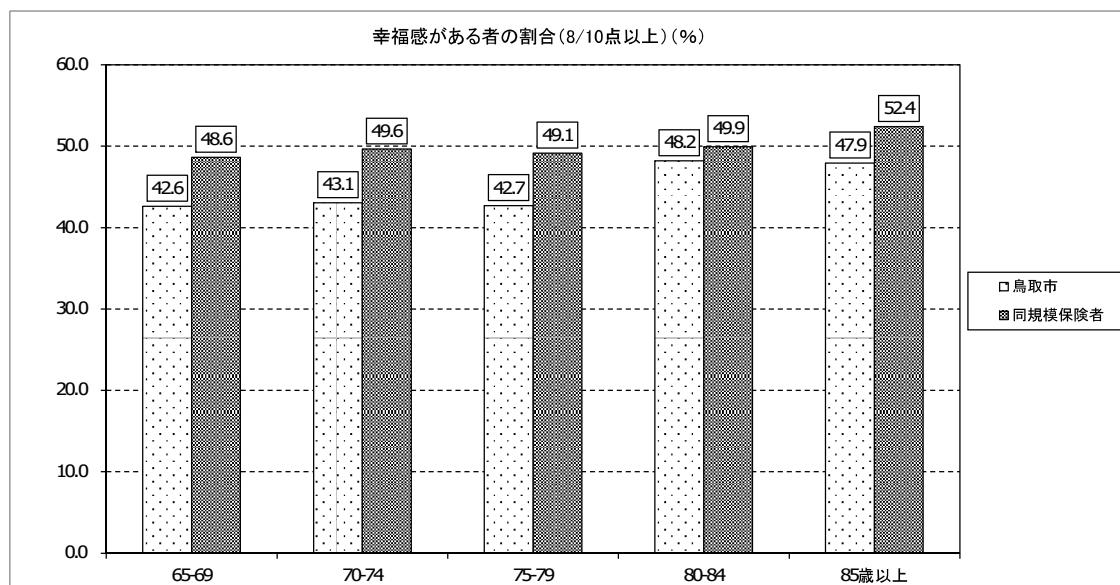


図 12 幸福感がある者の割合（8/10点以上）

「要介護リスク」： 幸福感がある者の割合（8/10点以上）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	3,463	672	857	875	572	487
	%	44.3	42.6	43.1	42.7	48.2	47.9
	サンプル数	7,818	1,577	1,990	2,049	1,186	1,016
同規模保険者	人数	46,110	8,386	9,704	12,429	9,183	6,408
	%	49.7	48.6	49.6	49.1	49.9	52.4
	サンプル数	92,699	17,246	19,548	25,291	18,388	12,226

表 12 幸福感がある者の割合（8/10点以上）

(13) 就労：就労していない者の割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『就労していない者の割合』は「75-79歳」でやや高く、「65-69歳」、「70-74歳」で高い。「80-84歳」で低く、「85歳以上」でとても低くなっている。

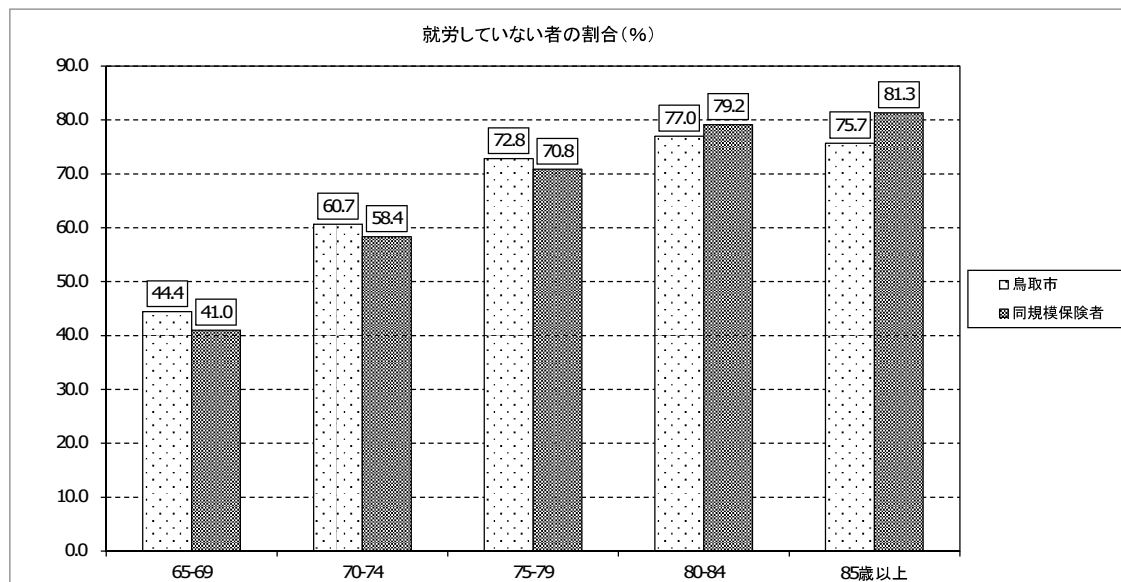


図 13 就労していない者の割合

「就労」： 就労していない者の割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	4,768	688	1,167	1,407	829	677
	%	64.7	44.4	60.7	72.8	77.0	75.7
	サンプル数	7,375	1,549	1,923	1,932	1,077	894
同規模保険者	人数	57,576	6,973	11,107	17,097	13,438	8,961
	%	65.3	41.0	58.4	70.8	79.2	81.3
	サンプル数	88,154	17,003	19,025	24,133	16,977	11,016

表 13 就労していない者の割合

(14) 社会参加：ボランティア参加者(月1回以上)割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『ボランティア参加者(月1回以上)割合』は「65-69歳」で高く、「70-74歳」でとても高い。「85歳以上」でとても低くなっている。

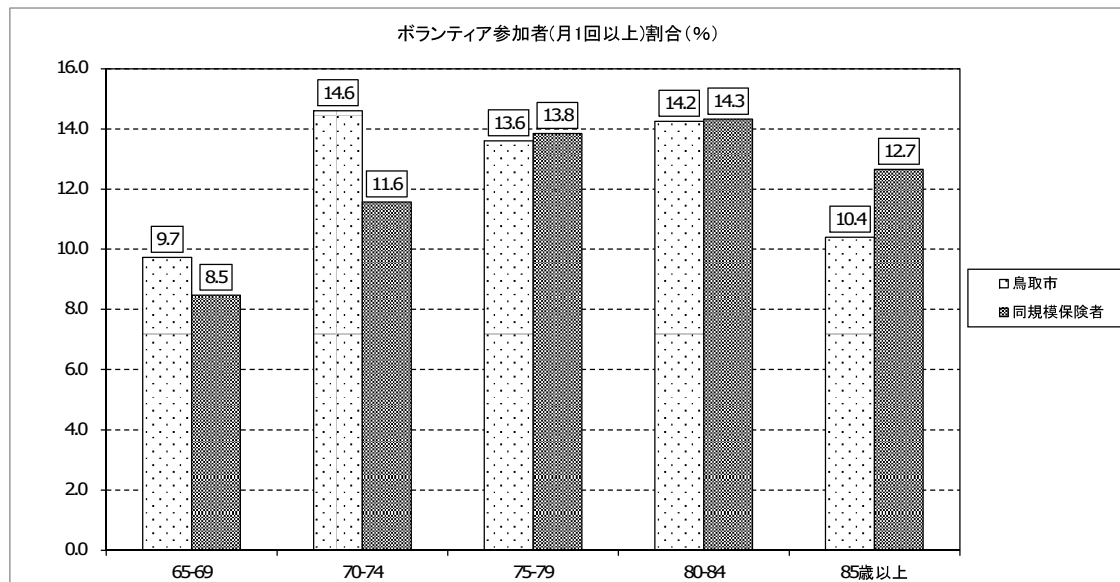


図 14 ボランティア参加者(月1回以上)割合

「社会参加」： ボランティア参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	983	154	289	275	165	100
	%	12.8	9.7	14.6	13.6	14.2	10.4
	サンプル数	7,705	1,583	1,980	2,022	1,158	962
同規模保険者	人数	11,217	1,459	2,248	3,460	2,566	1,484
	%	12.3	8.5	11.6	13.8	14.3	12.7
	サンプル数	91,296	17,228	19,427	24,996	17,919	11,726

表 14 ボランティア参加者(月1回以上)割合

(15) 社会参加：スポーツの会参加者(月1回以上)割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『スポーツの会参加者(月1回以上)割合』は「70-74歳」でやや低く、「65-69歳」で低く、「75-79歳」から「85歳以上」でとても低くなっている。

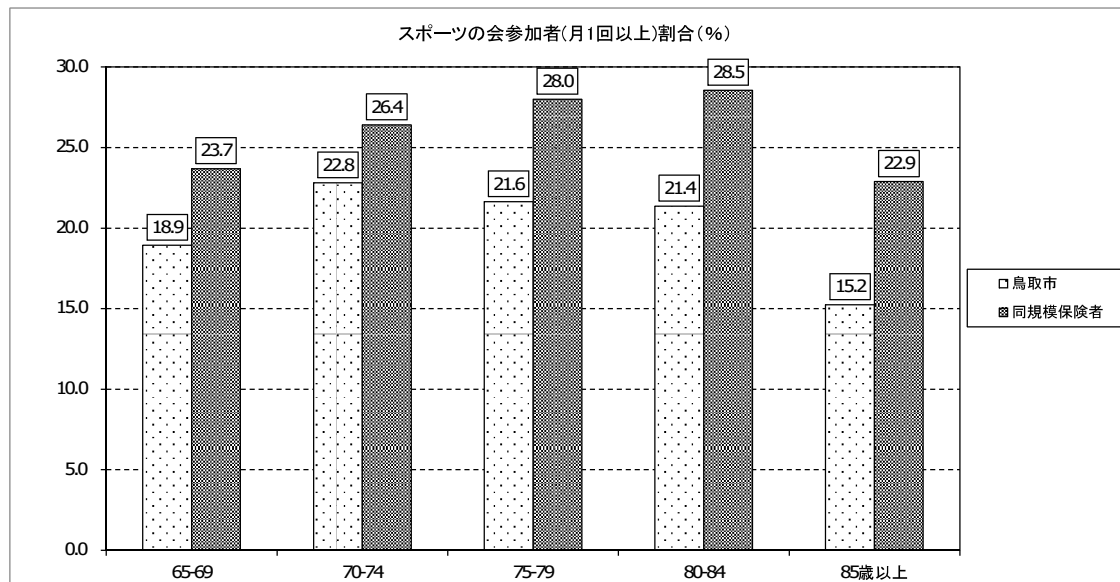


図 15 スポーツの会参加者(月1回以上)割合

「社会参加」： スポーツの会参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,593	299	453	441	252	148
	%	20.5	18.9	22.8	21.6	21.4	15.2
	サンプル数	7,757	1,580	1,987	2,039	1,180	971
同規模保険者	人数	24,120	4,087	5,142	7,031	5,153	2,707
	%	26.3	23.7	26.4	28.0	28.5	22.9
	サンプル数	91,746	17,254	19,479	25,127	18,053	11,833

表 15 スポーツの会参加者(月1回以上)割合

(16) 社会参加：趣味の会参加者(月1回以上)割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『趣味の会参加者(月1回以上)割合』は「65-69歳」、「75-79歳」から「85歳以上」で低く、特に「80-84歳」、「85歳以上」ではとても低くなっている。

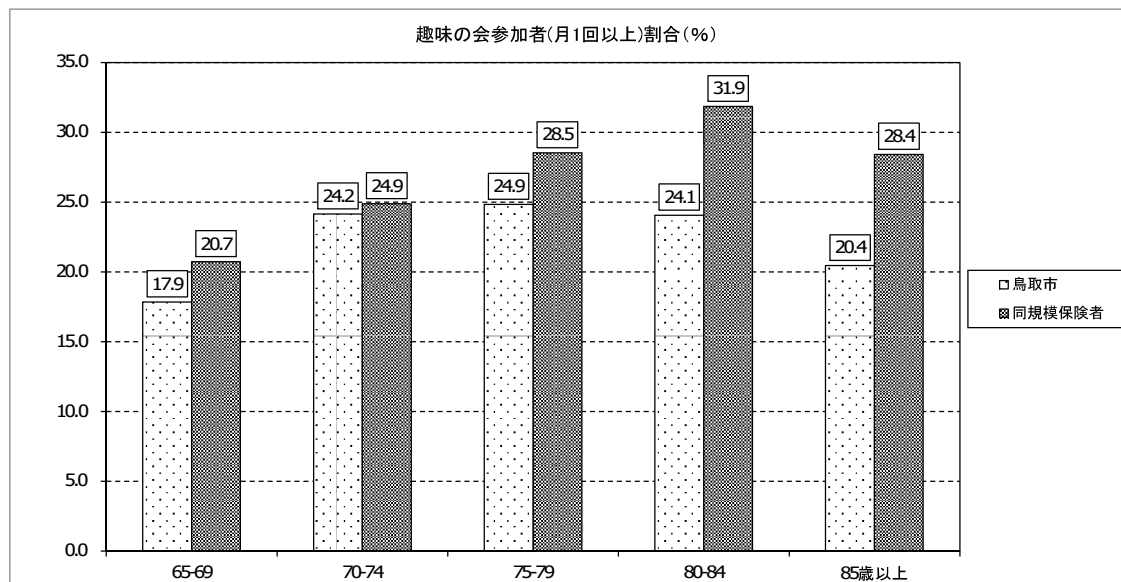


図 16 趣味の会参加者(月1回以上)割合

「社会参加」： 趣味の会参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,750	283	479	505	283	200
	%	22.6	17.9	24.2	24.9	24.1	20.4
	サンプル数	7,752	1,584	1,983	2,032	1,175	978
同規模保険者	人数	24,742	3,575	4,844	7,168	5,775	3,380
	%	26.9	20.7	24.9	28.5	31.9	28.4
	サンプル数	91,819	17,235	19,464	25,110	18,126	11,884

表 16 趣味の会参加者(月1回以上)割合

(17) 社会参加：学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合』は「65-69歳」でやや低く、「75-79歳」、「80-84歳」で低くなっている。

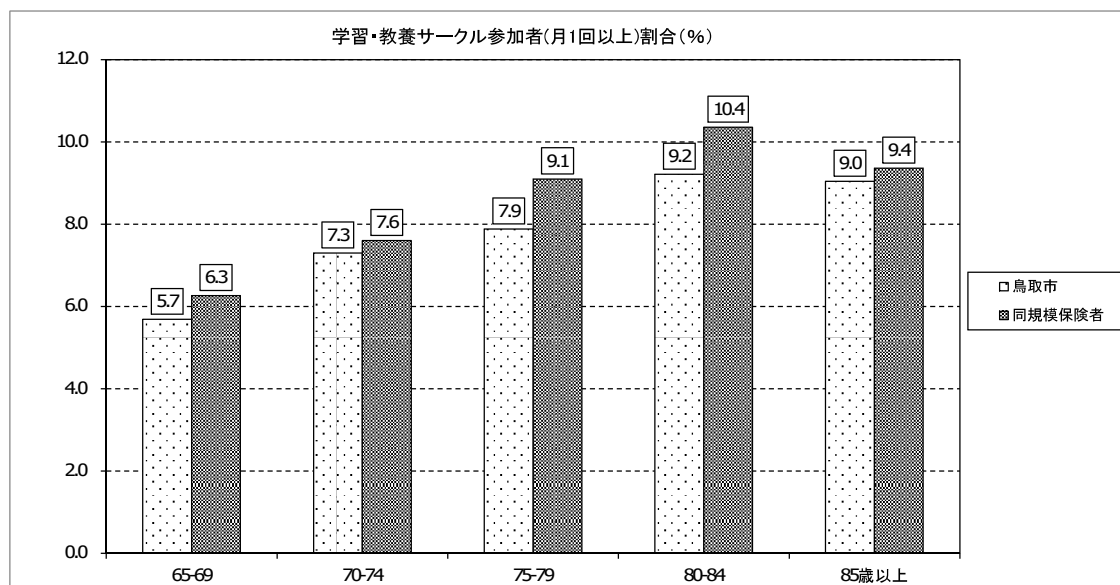


図 17 学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合

「社会参加」： 学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	591	90	145	160	108	88
	%	7.6	5.7	7.3	7.9	9.2	9.0
	サンプル数	7,744	1,583	1,986	2,030	1,172	973
同規模保険者	人数	7,814	1,080	1,479	2,283	1,869	1,103
	%	8.5	6.3	7.6	9.1	10.4	9.4
	サンプル数	91,610	17,238	19,456	25,086	18,050	11,780

表 17 学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合

(18) 社会参加：通いの場参加者(月1回以上)割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『通いの場参加者(月1回以上)割合』は「65-69歳」、「70-74歳」で高い。「75-79歳」でやや低く、「85歳以上」でとても低くなっている。

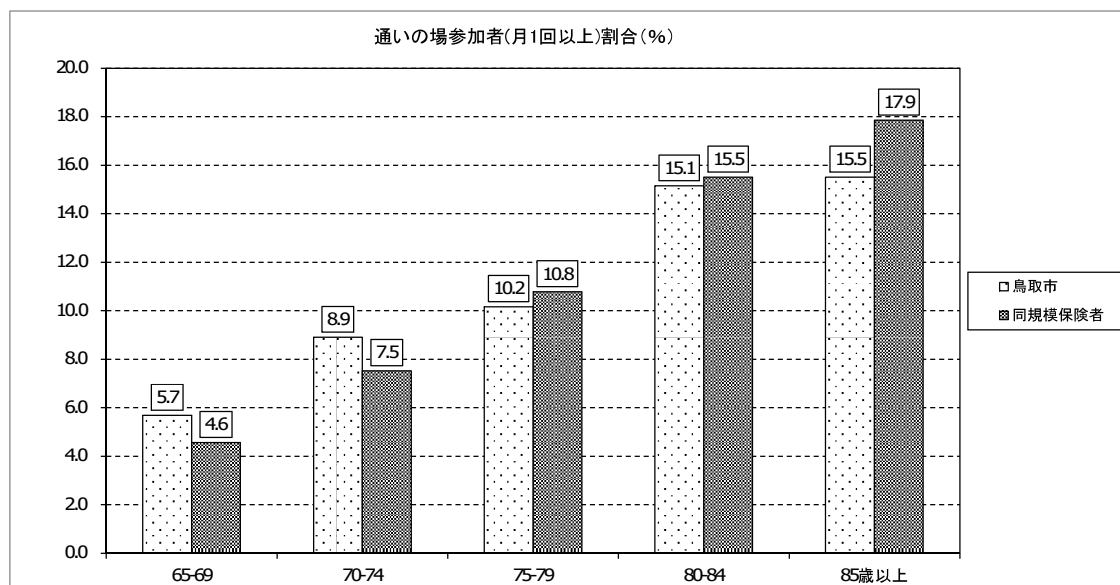


図 18 通いの場参加者(月1回以上)割合

「社会参加」： 通いの場参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	806	90	177	207	179	153
	%	10.4	5.7	8.9	10.2	15.1	15.5
	サンプル数	7,777	1,583	1,989	2,036	1,182	987
同規模保険者	人数	9,905	787	1,467	2,710	2,813	2,128
	%	10.8	4.6	7.5	10.8	15.5	17.9
	サンプル数	91,926	17,239	19,491	25,131	18,148	11,917

表 18 通いの場参加者(月1回以上)割合

(19) 社会参加：特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合』は「75-79歳」でやや低く、「65-69歳」、「85歳以上」で低くなっている。

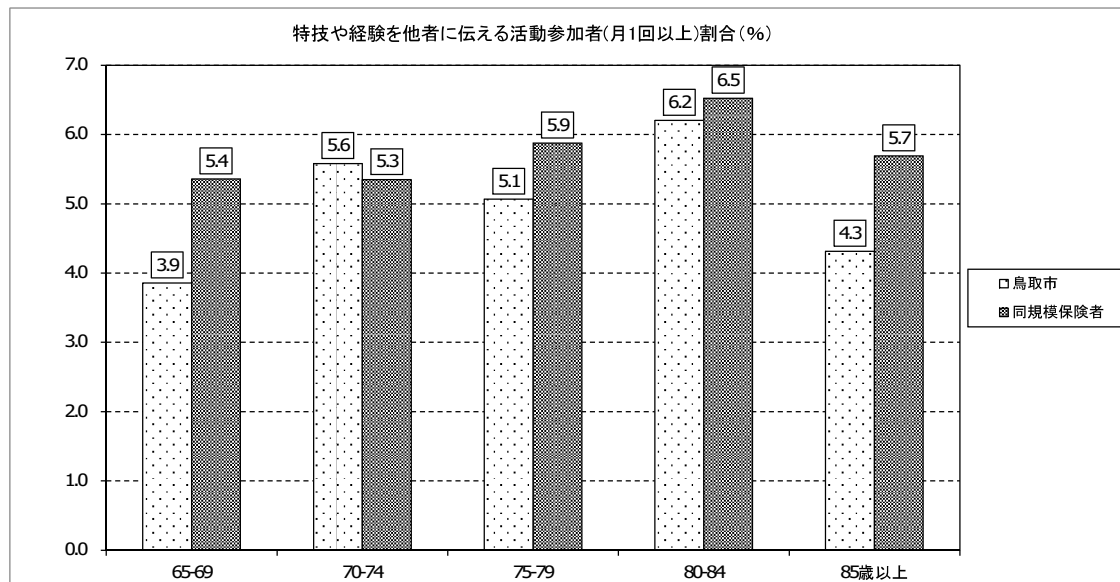


図 19 特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合

「社会参加」： 特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	390	61	111	103	73	42
	%	5.0	3.9	5.6	5.1	6.2	4.3
	サンプル数	7,755	1,582	1,989	2,034	1,177	973
同規模保険者	人数	5,294	923	1,042	1,476	1,180	673
	%	5.8	5.4	5.3	5.9	6.5	5.7
	サンプル数	91,740	17,228	19,484	25,115	18,086	11,827

表 19 特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合

(20) 社会的ネットワーク：友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合

鳥取市と同規模保険者を比較してみると『友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合』はすべての年齢で高く、特に「70-74歳」から「80-84歳」ではとても高くなっている。

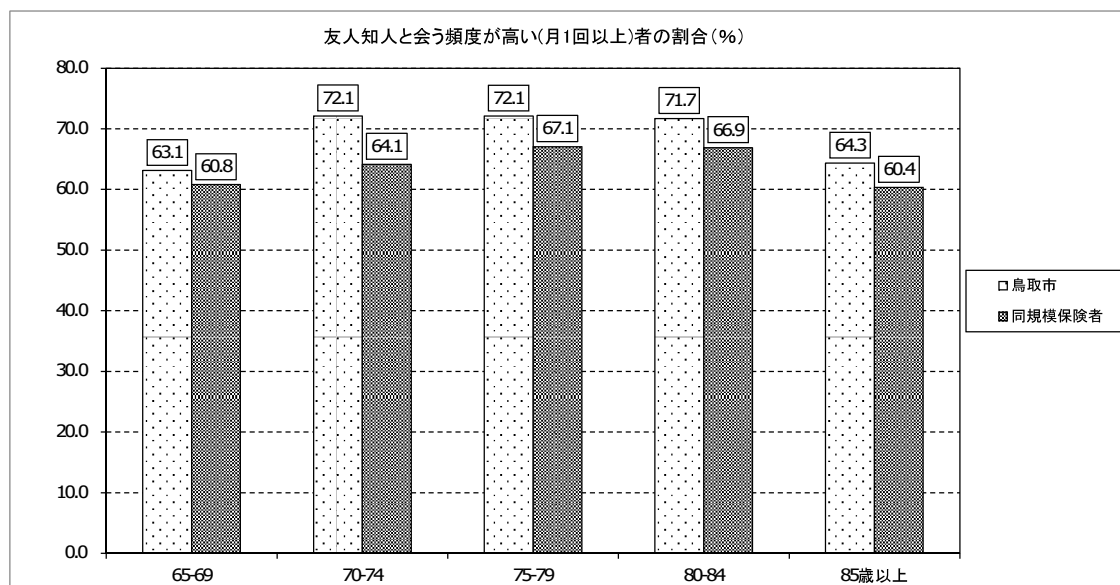


図 20 友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合

「社会的ネットワーク」： 友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	5,415	1,001	1,437	1,475	853	649
	%	69.2	63.1	72.1	72.1	71.7	64.3
	サンプル数	7,824	1,586	1,993	2,046	1,190	1,009
同規模保険者	人数	59,688	10,512	12,538	16,967	12,317	7,354
	%	64.4	60.8	64.1	67.1	66.9	60.4
	サンプル数	92,735	17,295	19,546	25,293	18,416	12,185

表 20 友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合

6. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワークの小地域間比較

(1) 要介護リスク

要介護リスクの状況について『鳥取市全体平均よりも割合が高い小地域』をみると、全年齢においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「湖東」、「鹿野」でやや高く、「西」、「北」、「河原」で高く、「江山」でとても高い。『運動機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「西」、「江山」、「高草」、「湖東」、「国府」、「河原」、「鹿野」でやや高く、「湖南」、「佐治」で高い。『1年間の転倒あり割合』は「江山」、「湖南」でやや高く、「気高」、「鹿野」で高く、「河原」、「佐治」、「青谷」でとても高い。『物忘れが多い者の割合』は「高草」、「福部」で高く、「江山」、「河原」、「佐治」、「鹿野」、「青谷」でとても高い。『閉じこもり者割合』は「東」でやや高く、「江山」、「国府」、「用瀬」で高く、「佐治」でとても高い。『うつ割合（基本チェックリスト）』は「江山」、「湖東」、「河原」、「鹿野」、「青谷」でやや高く、「南」で高く、「西」でとても高い。『口腔機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「湖南」でやや高く、「河原」で高く、「西」、「南」、「江山」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「東」、「南」でやや高く、「桜ヶ丘」、「用瀬」で高く、「北」、「河原」でとても高い。『要支援・要介護リスク点数（平均点）』は「河原」でやや高く、「西」、「北」で高い。『認知機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「北」、「湖南」、「国府」でやや高く、「用瀬」で高く、「江山」、「高草」、「福部」、「鹿野」でとても高い。『IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合』は「南」、「北」、「江山」、「国府」でやや高く、「河原」で高い。『幸福感がある者の割合(8/10点以上)』は「北」、「鹿野」でやや高く、「桜ヶ丘」、「中ノ郷」、「国府」で高く、「東」でとても高い。

	鳥取市全体 (n=7,994)	東 (n=600)	西 (n=469)	南 (n=659)	北 (n=508)	江山 (n=346)	高草 (n=462)	湖東 (n=655)	湖南 (n=297)	桜ヶ丘 (n=600)	
全年齢	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	19.9	19.2	23.9	20.8	22.0	24.9	17.8	20.9	17.8	15.8 (%)
	運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	14.0	12.2	15.6	14.7	13.9	15.8	15.2	15.2	16.0	10.4
	1年間の転倒あり割合	31.1	27.8	30.7	29.1	28.5	32.2	31.6	29.8	32.8	28.7
	物忘れが多い者の割合	39.4	36.2	39.6	39.0	37.7	42.2	41.3	39.2	39.8	36.5
	閉じこもり者割合	5.0	5.8	4.6	5.3	4.8	6.8	4.4	4.2	3.4	3.6
	うつ割合(基本チェックリスト)	28.7	24.0	34.4	31.0	28.5	30.3	28.4	30.0	28.3	25.2
	口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)	20.4	20.8	23.5	23.4	19.2	24.6	19.0	19.3	21.2	19.7
	低栄養の傾向割合	9.0	9.8	8.6	9.8	11.1	7.9	7.7	9.0	9.3	10.5
	要支援・要介護リスク点数(平均点)	16.9点	16.9点	17.9点	17.2点	18.3点	16.8点	16.4点	17.0点	15.9点	16.6点
	認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	34.4	34.2	31.8	33.8	35.0	38.1	38.4	34.6	35.2	30.0
IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	13.1	13.7	12.7	14.7	15.0	14.4	11.4	13.1	12.6	10.1	
幸福感がある者の割合(8/10点以上)	44.3	48.8	42.1	42.8	45.3	41.5	43.4	45.2	42.5	46.8	
	中ノ郷 (n=435)	国府 (n=408)	福部 (n=309)	河原 (n=400)	用瀬 (n=374)	佐治 (n=269)	気高 (n=436)	鹿野 (n=363)	青谷 (n=404)		
全年齢	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	18.0	18.7	20.1	22.8	18.5	16.8	19.5	21.1	20.0	(%)
	運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	10.8	15.1	11.3	15.3	11.6	17.7	14.4	15.2	13.3	
	1年間の転倒あり割合	30.3	29.8	30.2	37.4	30.3	36.3	33.6	33.4	35.2	
	物忘れが多い者の割合	34.5	37.8	41.2	42.9	39.1	44.7	38.8	43.5	41.6	
	閉じこもり者割合	3.8	6.2	4.0	5.4	6.6	8.7	5.3	4.5	5.3	
	うつ割合(基本チェックリスト)	26.8	26.5	26.9	29.8	28.1	29.6	29.6	29.9	30.5	
	口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)	18.0	20.8	18.1	21.7	18.2	20.8	17.5	20.2	20.2	
	低栄養の傾向割合	6.9	7.0	8.4	12.7	10.3	8.0	6.6	8.1	7.4	
	要支援・要介護リスク点数(平均点)	15.6点	16.4点	15.5点	17.4点	16.6点	17.2点	16.8点	17.0点	16.9点	
	認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	30.4	34.9	38.7	33.3	35.4	33.5	34.8	38.5	32.4	
IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	9.8	14.4	13.7	16.0	13.8	12.0	11.6	13.8	13.1		
幸福感がある者の割合(8/10点以上)	48.0	47.6	39.2	41.9	45.3	33.7	45.3	45.5	43.8		

表1-1 要介護リスク（全年齢）⁴

⁴ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

65～74 歳においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト 8 項目以上）』は「河原」、「青谷」でやや高く、「鹿野」で高く、「西」、「江山」でとても高い。『運動機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「西」、「江山」、「高草」、「湖東」、「佐治」、「気高」でやや高く、「南」、「湖南」で高い。『1 年間の転倒あり割合』は「湖南」、「中ノ郷」、「気高」でやや高く、「江山」、「高草」、「河原」、「青谷」で高く、「佐治」、「鹿野」でとても高い。『物忘れが多い者の割合』は「西」、「江山」、「高草」、「河原」、「佐治」、「気高」、「青谷」でとても高い。『閉じこもり者割合』は「北」でやや高く、「東」、「江山」、「鹿野」で高く、「用瀬」でとても高い。『うつ割合（基本チェックリスト）』は「湖東」、「河原」、「青谷」でやや高く、「湖南」、「鹿野」で高く、「西」、「江山」でとても高い。『口腔機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「東」、「桜ヶ丘」、「佐治」、「青谷」で高く、「西」、「南」、「江山」、「鹿野」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「江山」、「国府」、「福部」でやや高く、「湖南」、「河原」、「佐治」で高く、「東」、「桜ヶ丘」でとても高い。『要支援・要介護リスク点数（平均点）』は「江山」でやや高い。『認知機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「用瀬」でやや高く、「西」で高く、「東」、「南」、「高草」、「福部」、「佐治」、「鹿野」でとても高い。『IADL(自立度)低下者(1 項目以上)割合』は「福部」、「河原」、「鹿野」でやや高く、「東」、「用瀬」で高い。『幸福感がある者の割合(8/10 点以上)』は「西」、「中ノ郷」、「国府」でやや高く、「東」、「南」、「桜ヶ丘」で高く、「北」でとても高い。

		鳥取市全体 (n=3,620)	東 (n=266)	西 (n=190)	南 (n=282)	北 (n=195)	江山 (n=177)	高草 (n=212)	湖東 (n=279)	湖南 (n=138)	桜ヶ丘 (n=260)
65 74 歳	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	12.4	12.8	18.9	12.4	13.3	20.3	10.4	12.9	9.4	8.1(%)
	運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	6.9	5.7	8.0	8.9	5.6	8.0	8.5	8.3	9.6	4.2
	1年間の転倒あり割合	25.6	22.6	25.0	25.8	18.5	28.6	28.1	22.5	27.2	22.4
	物忘れが多い者の割合	35.4	33.1	39.2	33.7	33.2	37.6	38.2	35.4	34.1	34.2
	閉じこもり者割合	2.4	3.8	2.7	1.8	3.1	3.4	1.9	2.2	1.5	1.6
	うつ割合(基本チェックリスト)	23.1	18.6	32.3	21.6	23.4	27.6	19.9	24.5	25.2	19.5
	口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)	16.6	18.3	21.3	19.0	13.8	22.3	17.1	14.5	16.2	17.8
	低栄養の傾向割合	8.1	10.2	5.9	8.4	8.4	8.8	6.7	7.3	9.4	10.3
	要支援・要介護リスク点数(平均点)	8.9点	9.3点	9.3点	9.0点	8.3点	9.6点	9.3点	9.0点	8.4点	9.0点
	認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	29.9	32.4	31.6	32.5	28.2	29.7	32.1	28.3	27.9	26.0
	IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	6.4	9.9	6.4	6.8	7.2	5.7	5.2	5.4	5.1	4.6
	幸福感がある者の割合(8/10点以上)	42.9	44.9	44.2	45.7	49.5	36.4	43.1	43.3	41.2	46.5
		中ノ郷 (n=215)	国府 (n=193)	福部 (n=158)	河原 (n=187)	用瀬 (n=187)	佐治 (n=121)	気高 (n=207)	鹿野 (n=165)	青谷 (n=188)	
65 74 歳	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	10.2	11.5	10.1	13.4	11.3	6.6	10.6	15.2	14.4(%)	
	運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	4.8	7.9	3.2	6.0	7.0	8.4	8.8	7.4	4.3	
	1年間の転倒あり割合	27.1	26.3	21.0	28.3	25.9	30.3	27.0	33.3	27.8	
	物忘れが多い者の割合	31.4	30.5	35.0	39.0	31.4	44.0	39.7	34.6	38.7	
	閉じこもり者割合	2.4	2.1	0.6	0.5	4.9	2.5	2.4	3.7	1.6	
	うつ割合(基本チェックリスト)	22.5	22.6	20.4	24.5	23.4	19.5	23.5	25.3	25.0	
	口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)	15.7	15.2	10.8	15.8	11.9	18.5	13.2	19.8	17.6	
	低栄養の傾向割合	7.2	8.8	8.9	9.9	8.3	9.2	5.3	5.7	7.0	
	要支援・要介護リスク点数(平均点)	8.7点	8.7点	8.2点	8.9点	9.1点	8.2点	9.1点	8.6点	8.4点	
	認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	25.7	29.3	34.4	28.3	30.8	32.8	28.9	34.6	27.3	
	IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	4.3	5.8	8.3	7.6	8.6	3.4	6.9	8.0	4.3	
	幸福感がある者の割合(8/10点以上)	44.8	44.9	41.8	40.0	42.0	29.9	40.2	42.0	41.2	

表 1-2 要介護リスク (65～74 歳)⁵

⁵ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

75～84 歳においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト 8 項目以上）』は「西」、「南」、「江山」、「高草」、「湖東」でやや高く、「河原」、「気高」で高く、「福部」でとても高い。『運動機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「西」、「鹿野」でやや高く、「江山」、「高草」、「湖東」、「佐治」で高く、「河原」でとても高い。『1年間の転倒あり割合』は「高草」でやや高く、「福部」、「用瀬」、「青谷」で高く、「湖南」、「河原」、「佐治」、「気高」でとても高い。『物忘れが多い者の割合』は「佐治」でやや高く、「高草」、「国府」で高く、「湖南」、「福部」、「河原」、「用瀬」、「鹿野」、「青谷」でとても高い。『閉じこもり者割合』は「江山」、「高草」、「国府」、「用瀬」、「気高」、「青谷」で高く、「福部」、「佐治」でとても高い。『うつ割合（基本チェックリスト）』は「西」、「佐治」、「鹿野」でやや高く、「高草」、「湖東」で高く、「南」、「気高」でとても高い。『口腔機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「江山」でやや高く、「西」、「南」、「湖東」、「国府」、「福部」、「河原」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「南」でやや高く、「湖東」、「桜ヶ丘」で高く、「北」、「河原」、「用瀬」、「鹿野」でとても高い。『要支援・要介護リスク点数（平均点）』は「北」、「河原」、「鹿野」でやや高い。『認知機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「河原」でやや高く、「中ノ郷」、「国府」、「気高」で高く、「江山」、「高草」、「湖南」、「福部」、「用瀬」、「鹿野」でとても高い。『IADL(自立度)低下者（1 項目以上）割合』は「江山」、「福部」、「河原」、「青谷」でやや高く、「湖東」、「国府」で高い。『幸福感がある者の割合（8/10 点以上）』は「江山」、「湖東」、「鹿野」でやや高く、「桜ヶ丘」、「気高」で高く、「東」、「中ノ郷」、「国府」でとても高い。

		鳥取市全体 (n=3,311)	東 (n=262)	西 (n=205)	南 (n=292)	北 (n=220)	江山 (n=123)	高草 (n=205)	湖東 (n=297)	湖南 (n=128)	桜ヶ丘 (n=274)
75 84 歳	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	20.0	18.0	21.6	21.6	18.6	21.3	21.1	22.0	17.2	16.1 (%)
	運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	14.6	10.9	16.4	14.3	14.2	17.2	17.9	16.7	12.7	11.5
	1年間の転倒あり割合	32.1	28.4	28.9	28.2	30.3	29.5	33.5	32.8	38.1	31.1
	物忘れが多い者の割合	40.1	37.3	35.9	40.3	37.3	39.8	41.9	40.1	45.5	32.6
	閉じこもり者割合	4.3	4.0	3.5	4.2	1.4	5.8	5.5	3.1	3.2	3.7
	うつ割合(基本チェックリスト)	29.8	24.7	31.5	33.9	26.4	30.3	33.2	33.1	26.4	25.9
	口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)	21.4	19.8	23.9	25.5	19.7	22.1	19.6	24.0	21.4	18.6
	低栄養の傾向割合	8.9	8.8	7.1	9.7	11.6	4.2	8.5	10.8	6.5	10.5
	要支援・要介護リスク点数(平均点)	20.8点	20.6点	21.0点	20.7点	21.3点	20.9点	20.5点	20.8点	19.9点	20.3点
	認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	33.5	32.7	25.9	30.2	33.0	41.0	40.3	33.4	37.3	28.5
	IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	13.3	12.8	13.9	14.2	12.8	14.8	13.9	16.3	11.1	11.1
幸福感がある者の割合(8/10点以上)	44.7	54.6	39.1	38.9	43.6	46.7	42.8	45.7	44.9	47.2	
		中ノ郷 (n=182)	国府 (n=158)	福部 (n=117)	河原 (n=144)	用瀬 (n=132)	佐治 (n=103)	気高 (n=170)	鹿野 (n=146)	青谷 (n=153)	
75 84 歳	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	20.3	18.4	25.0	22.2	20.5	17.5	22.4	20.5	17.0 (%)	
	運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	14.4	14.7	13.5	19.0	11.5	17.5	13.6	16.4	12.7	
	1年間の転倒あり割合	27.4	30.1	34.8	39.4	35.1	37.3	36.9	32.2	34.7	
	物忘れが多い者の割合	40.6	41.8	45.0	45.0	43.4	40.8	36.5	48.6	43.3	
	閉じこもり者割合	1.7	5.8	7.1	4.3	5.3	8.7	5.3	4.1	5.3	
	うつ割合(基本チェックリスト)	29.9	27.9	29.6	27.7	28.1	31.3	34.5	31.3	28.7	
	口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)	18.5	24.4	23.4	23.9	19.2	16.7	21.7	19.2	20.0	
	低栄養の傾向割合	5.7	4.6	9.1	14.1	11.9	5.1	7.3	12.1	8.0	
	要支援・要介護リスク点数(平均点)	20.6点	20.3点	20.7点	21.4点	21.1点	21.0点	20.9点	21.6点	21.0点	
	認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	35.0	34.6	41.1	34.5	35.9	27.2	34.9	35.6	32.0	
	IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	11.7	16.7	15.2	14.8	13.0	10.7	7.1	13.0	14.7	
幸福感がある者の割合(8/10点以上)	48.9	48.7	35.4	43.4	44.1	36.3	47.0	46.5	44.5		

表 1-3 要介護リスク（75～84 歳）⁶

⁶ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

85歳以上においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「東」でやや高く、「北」、「河原」で高く、「江山」、「湖南」、「中ノ郷」、「福部」でとても高い。『運動機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「鹿野」でやや高く、「東」、「江山」、「湖南」、「国府」、「福部」、「佐治」、「青谷」でとても高い。『1年間の転倒あり割合』は「西」で高く、「江山」、「中ノ郷」、「福部」、「河原」、「佐治」、「青谷」でとても高い。『物忘れが多い者の割合』は「南」、「江山」、「高草」、「桜ヶ丘」、「福部」、「用瀬」、「佐治」、「鹿野」でとても高い。『閉じこもり者割合』は「東」、「南」、「江山」、「中ノ郷」、「国府」、「河原」、「佐治」でとても高い。『うつ割合（基本チェックリスト）』は「西」、「高草」、「河原」で高く、「南」、「湖南」、「福部」、「佐治」、「青谷」でとても高い。『口腔機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「南」でやや高く、「桜ヶ丘」で高く、「東」、「江山」、「湖南」、「福部」、「河原」、「用瀬」、「佐治」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「江山」、「用瀬」で高く、「西」、「南」、「北」、「湖南」、「河原」でとても高い。『要支援・要介護リスク点数（平均点）』は「湖南」、「青谷」でやや高く、「江山」、「佐治」が高い。『認知機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「北」で高く、「江山」、「高草」、「湖東」、「湖南」、「国府」、「気高」、「鹿野」でとても高い。『IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合』は「北」、「国府」でやや高く、「佐治」で高く、「南」、「江山」、「湖南」、「河原」、「気高」でとても高い。『幸福感がある者の割合(8/10点以上)』は「湖東」、「青谷」で高く、「中ノ郷」、「国府」、「用瀬」、「気高」、「鹿野」でとても高い。

	鳥取市全体 (n=1,063)	東 (n=72)	西 (n=74)	南 (n=85)	北 (n=93)	江山 (n=46)	高草 (n=45)	湖東 (n=79)	湖南 (n=31)	桜ヶ丘 (n=66)	
85歳以上	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	45.7	47.2	43.2	45.9	48.4	52.2	37.8	45.6	58.1	45.5 (%)
	運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	36.3	40.3	32.9	35.4	30.4	43.2	34.9	34.2	58.1	30.3
	1年間の転倒あり割合	46.9	44.4	50.7	43.2	45.7	54.8	39.5	44.3	35.5	43.8
	物忘れが多い者の割合	50.8	44.3	50.7	53.2	48.4	67.4	53.7	49.4	41.9	61.5
	閉じこもり者割合	16.8	19.4	13.0	21.5	16.5	22.7	11.6	15.6	12.9	10.6
	うつ割合(基本チェックリスト)	44.9	42.0	48.6	53.1	44.4	40.9	47.7	38.2	50.0	44.6
	口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)	30.3	33.3	28.4	30.9	29.7	40.9	26.2	19.0	41.9	31.8
	低栄養の傾向割合	12.3	11.8	20.6	15.6	15.7	14.0	9.3	8.2	21.4	11.7
	要支援・要介護リスク点数(平均点)	31.7点	31.9点	31.2点	32.0点	32.0点	33.4点	30.9点	31.0点	32.6点	31.0点
	認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	52.4	45.8	48.6	50.6	54.3	63.6	60.5	60.8	58.1	51.5
	IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	35.6	30.6	25.7	43.4	37.0	47.7	30.2	27.8	51.6	27.3
	幸福感がある者の割合(8/10点以上)	47.9	43.1	44.9	46.3	40.7	47.7	47.6	50.0	38.7	46.8
	中ノ郷 (n=38)	国府 (n=57)	福部 (n=34)	河原 (n=69)	用瀬 (n=55)	佐治 (n=45)	気高 (n=59)	鹿野 (n=52)	青谷 (n=63)		
85歳以上	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	51.4	43.9	50.0	49.3	38.2	43.2	42.4	41.2	44.4 (%)	
	運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	27.0	40.4	43.8	32.8	27.8	43.2	36.2	37.5	42.6	
	1年間の転倒あり割合	62.2	40.4	59.4	58.2	33.3	51.2	47.4	37.5	59.0	
	物忘れが多い者の割合	22.9	50.9	60.0	49.3	55.8	55.8	42.6	58.7	46.6	
	閉じこもり者割合	22.2	21.1	9.4	20.9	16.3	26.2	15.8	8.3	16.4	
	うつ割合(基本チェックリスト)	36.1	35.7	51.7	48.5	44.4	53.5	37.5	40.8	52.5	
	口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)	29.4	29.8	36.7	32.8	37.0	36.4	20.7	25.0	28.8	
	低栄養の傾向割合	11.4	7.5	3.2	17.5	13.7	12.5	9.6	4.4	6.9	
	要支援・要介護リスク点数(平均点)	31.1点	31.8点	31.6点	31.9点	31.0点	32.9点	32.1点	30.6点	32.5点	
	認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	35.1	54.4	51.6	44.8	50.0	50.0	55.2	60.4	49.2	
	IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	32.4	36.8	35.5	41.8	33.3	38.6	41.4	35.4	36.1	
	幸福感がある者の割合(8/10点以上)	62.9	53.6	40.0	43.9	59.6	38.1	58.9	54.0	50.0	

表1-4 要介護リスク(85歳以上)⁷

⁷ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

(2) 就労

就労の状況について『鳥取市全体平均よりも割合が高い小地域』をみると、全年齢においては、『**就労していない者の割合**』は「江山」でやや高く、「湖東」、「桜ヶ丘」、「青谷」で高く、「東」、「西」、「高草」でとても高い。

65～74歳においては、『**就労していない者の割合**』は「湖東」でやや高く、「東」、「中ノ郷」、「気高」、「青谷」で高く、「西」、「江山」、「高草」でとても高い。

75～84歳においては、『**就労していない者の割合**』は「西」、「鹿野」でやや高く、「高草」、「桜ヶ丘」、「用瀬」で高く、「東」、「湖東」でとても高い。

85歳以上においては、『**就労していない者の割合**』は「湖東」、「鹿野」でやや高く、「気高」で高く、「東」、「西」、「高草」、「湖南」、「桜ヶ丘」、「国府」、「青谷」でとても高い。

	鳥取市全体 (n=7,994)	東 (n=600)	西 (n=469)	南 (n=659)	北 (n=508)	江山 (n=346)	高草 (n=462)	湖東 (n=655)	湖南 (n=297)	桜ヶ丘 (n=600)
全年齢	64.7	69.8	69.4	63.1	63.8	66.2	69.2	67.5	63.5	67.9
65～74歳	53.4	56.3	58.5	51.9	51.3	62.2	59.5	54.6	48.5	53.6
75～84歳	74.3	81.0	75.5	73.2	70.6	70.6	76.4	78.3	74.8	77.4
85歳以上	75.7	80.3	82.8	68.1	75.6	71.1	84.6	77.3	88.9	87.5
	中ノ郷 (n=435)	国府 (n=408)	福部 (n=309)	河原 (n=400)	用瀬 (n=374)	佐治 (n=269)	気高 (n=436)	鹿野 (n=363)	青谷 (n=404)	
全年齢	64.0	64.8	56.0	57.8	62.1	52.7	64.4	60.9	67.3	(%)
65～74歳	56.3	53.0	47.7	47.3	51.1	44.9	56.0	43.8	57.2	
75～84歳	71.7	73.8	69.2	68.2	77.3	62.5	71.1	76.3	74.6	
85歳以上	74.2	83.0	51.7	68.5	64.4	54.5	78.7	76.7	81.8	

表2-1 就労⁸

⁸ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

(3) 社会参加

社会参加の状況について『鳥取市全体平均よりも割合が低い小地域』をみると、全年齢においては、『ボランティア参加者(月1回以上)割合』は「桜ヶ丘」、「河原」でやや低く、「西」、「南」、「北」、「高草」、「中ノ郷」、「福部」でとても低い。『スポーツの会参加者(月1回以上)割合』は「江山」でやや低く、「河原」、「鹿野」、「青谷」で低い。『趣味の会参加者(月1回以上)割合』は「気高」でやや低く、「福部」で低く、「江山」、「河原」でとても低い。『学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合』は「西」、「南」、「中ノ郷」、「気高」でやや低く、「江山」、「国府」、「福部」で低く、「河原」、「青谷」でとても低い。『通いの場参加者(月1回以上)割合』は「北」でやや低く、「桜ヶ丘」、「国府」で低く、「南」、「江山」、「高草」、「中ノ郷」、「福部」でとても低い。『特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合』は「南」、「江山」でやや低く、「高草」、「河原」、「青谷」で低く、「福部」でとても低い。

		鳥取市全体 (n=7,994)	東 (n=600)	西 (n=469)	南 (n=659)	北 (n=508)	江山 (n=346)	高草 (n=462)	湖東 (n=655)	湖南 (n=297)	桜ヶ丘 (n=600)
全年齢	ボランティア参加者(月1回以上)割合	12.8	12.8	10.4	9.8	9.9	13.2	8.7	13.8	16.8	11.9
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	20.5	23.1	21.1	21.1	22.1	16.8	18.8	26.7	19.0	24.0
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	22.6	21.6	23.3	23.0	25.7	18.4	22.9	24.8	22.5	21.9
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	7.6	7.8	7.1	7.1	9.9	5.7	9.0	8.5	10.0	9.4
	通いの場参加者(月1回以上)割合	10.4	10.5	14.0	7.5	9.4	8.0	8.1	12.2	12.7	9.2
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	5.0	6.7	4.8	4.2	6.0	4.2	3.8	5.2	6.9	5.8
		中ノ郷 (n=435)	国府 (n=408)	福部 (n=309)	河原 (n=400)	用瀬 (n=374)	佐治 (n=269)	気高 (n=436)	鹿野 (n=363)	青谷 (n=404)	
全年齢	ボランティア参加者割合	8.9	12.7	8.3	11.9	20.3	14.3	15.3	19.2	16.6	(%)
	スポーツの会参加者割合	22.7	18.6	19.5	15.6	20.6	19.5	19.4	16.4	15.2	
	趣味の会参加者割合	25.6	22.4	20.5	18.3	25.5	22.0	21.1	21.6	22.2	
	学習・教養サークル参加者割合	7.1	6.0	5.6	5.2	8.0	8.0	7.1	9.0	5.4	
	通いの場参加者割合	7.9	8.8	5.7	10.5	13.7	14.9	14.0	10.6	11.0	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	5.5	5.5	2.7	3.9	5.8	5.0	5.0	4.6	3.9	

表3-1 社会参加（全年齢）⁹

⁹ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

65～74 歳においては、『ボランティア参加者(月 1 回以上)割合』は「湖東」でやや低く、「西」、「南」、「高草」、「中ノ郷」、「国府」、「福部」でとても低い。『スポーツの会参加者(月 1 回以上)割合』は「江山」、「湖南」、「国府」、「佐治」、「気高」でやや低く、「鹿野」、「青谷」で低い。『趣味の会参加者(月 1 回以上)割合』は「河原」、「気高」でやや低く、「東」、「福部」、「鹿野」で低く、「湖南」、「佐治」でとても低い。『学習・教養サークル参加者(月 1 回以上)割合』は「鹿野」でやや低く、「西」、「河原」、「用瀬」、「気高」で低く、「中ノ郷」、「国府」、「福部」、「青谷」でとても低い。『通いの場参加者(月 1 回以上)割合』は「高草」、「国府」で低く、「東」、「北」、「中ノ郷」、「福部」、「河原」でとても低い。『特技や経験を他者に伝える活動参加者(月 1 回以上)割合』は「高草」、「気高」、「鹿野」、「青谷」で低く、「福部」、「河原」でとても低い。

		鳥取市全体 (n=3,620)	東 (n=266)	西 (n=190)	南 (n=282)	北 (n=195)	江山 (n=177)	高草 (n=212)	湖東 (n=279)	湖南 (n=138)	桜ヶ丘 (n=260)
65 74 歳	ボランティア参加者(月1回以上)割合	12.4	12.0	10.2	10.4	13.5	15.3	7.7	11.9	14.6	12.6 (%)
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	21.1	21.9	23.4	22.0	26.8	17.6	20.0	27.0	17.5	24.5
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	21.4	17.8	23.4	23.9	24.6	20.6	26.2	22.0	16.9	21.5
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	6.6	6.5	5.3	7.9	12.4	7.5	7.6	6.8	8.0	9.7
	通いの場参加者(月1回以上)割合	7.5	4.6	11.2	7.1	5.1	9.1	6.2	7.9	11.7	8.2
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	4.8	5.8	5.3	4.6	5.7	5.1	3.8	5.8	5.8	6.6
		中ノ郷 (n=215)	国府 (n=193)	福部 (n=158)	河原 (n=187)	用瀬 (n=187)	佐治 (n=121)	気高 (n=207)	鹿野 (n=165)	青谷 (n=188)	
65 74 歳	ボランティア参加者割合	8.1	10.2	5.7	13.1	18.3	16.0	13.6	17.0	18.2	(%)
	スポーツの会参加者割合	20.4	18.1	19.7	19.6	23.9	17.6	18.9	16.5	16.0	
	趣味の会参加者割合	21.8	21.7	18.5	19.6	24.6	16.1	20.0	18.6	21.9	
	学習・教養サークル参加者割合	4.3	4.2	4.5	4.9	5.5	7.6	4.9	5.7	3.7	
	通いの場参加者割合	3.8	6.4	3.8	5.4	10.4	12.6	8.8	8.2	8.0	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	4.8	5.3	2.5	2.2	5.5	5.9	3.4	3.8	3.7	

表 3 - 2 社会参加 (65～74 歳) ¹⁰

¹⁰ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

75～84 歳においては、『ボランティア参加者(月 1 回以上)割合』は「江山」、「佐治」でやや低く、「福部」、「河原」で低く、「西」、「南」、「北」、「高草」、「桜ヶ丘」、「中ノ郷」でとても低い。『スポーツの会参加者(月 1 回以上)割合』は「江山」、「高草」、「福部」でやや低く、「鹿野」、「青谷」で低く、「河原」、「用瀬」でとても低い。『趣味の会参加者(月 1 回以上)割合』は「青谷」でやや低く、「西」、「南」、「高草」、「桜ヶ丘」で低く、「江山」、「河原」でとても低い。『学習・教養サークル参加者(月 1 回以上)割合』は「北」でやや低く、「南」、「国府」、「福部」、「河原」、「佐治」で低く、「西」、「江山」でとても低い。『通いの場参加者(月 1 回以上)割合』は「中ノ郷」、「国府」で低く、「南」、「江山」、「高草」、「桜ヶ丘」、「福部」でとても低い。『特技や経験を他者に伝える活動参加者(月 1 回以上)割合』は「西」、「湖東」、「国府」、「青谷」でやや低く、「南」、「高草」で低く、「江山」、「福部」、「佐治」でとても低い。

		鳥取市全体 (n=3,311)	東 (n=262)	西 (n=205)	南 (n=292)	北 (n=220)	江山 (n=123)	高草 (n=205)	湖東 (n=297)	湖南 (n=128)	桜ヶ丘 (n=274)
75 84 歳	ボランティア参加者(月1回以上)割合	13.8	15.1	11.6	9.8	8.9	13.3	9.3	15.8	21.2	11.7
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	21.5	24.9	20.6	21.1	22.2	18.3	17.9	30.1	22.0	23.1
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	24.6	25.9	21.3	22.0	28.2	17.6	21.1	29.0	31.1	22.1
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	8.4	9.6	5.6	6.5	7.4	3.4	9.2	9.8	12.3	9.3
	通いの場参加者(月1回以上)割合	12.0	13.5	13.6	7.5	12.4	5.0	9.1	15.3	14.6	8.2
特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	5.5	7.9	4.5	4.3	7.4	3.4	3.6	4.6	9.1	5.9	
		中ノ郷 (n=182)	国府 (n=158)	福部 (n=117)	河原 (n=144)	用瀬 (n=132)	佐治 (n=103)	気高 (n=170)	鹿野 (n=146)	青谷 (n=153)	
75 84 歳	ボランティア参加者割合	9.4	16.3	12.4	12.0	23.7	13.0	16.6	22.4	15.9	
	スポーツの会参加者割合	27.0	21.4	19.1	13.4	15.3	23.5	21.3	17.5	15.6	
	趣味の会参加者割合	30.5	25.5	25.4	17.0	23.7	28.7	24.8	23.9	23.3	
	学習・教養サークル参加者割合	9.6	7.1	7.0	7.1	9.8	7.0	8.0	12.1	8.8	
	通いの場参加者割合	10.7	10.3	7.0	14.1	16.0	18.8	18.0	12.7	12.8	
特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	7.3	4.5	3.5	6.3	5.4	3.0	5.5	6.3	4.7		

表 3 - 3 社会参加 (75～84 歳) ¹¹

¹¹ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

85歳以上においては、『ボランティア参加者(月1回以上)割合』は「湖南」でやや低く、「東」、「西」、「南」、「北」、「江山」、「福部」、「河原」でとても低い。『スポーツの会参加者(月1回以上)割合』は「北」、「湖東」、「国府」、「鹿野」、「青谷」でやや低く、「江山」、「河原」で低い。『趣味の会参加者(月1回以上)割合』は「湖東」でやや低く、「河原」で低く、「江山」、「高草」、「湖南」、「国府」、「福部」、「気高」でとても低い。『学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合』は「桜ヶ丘」でやや低く、「東」、「南」、「江山」、「福部」、「河原」、「青谷」でとても低い。『通いの場参加者(月1回以上)割合』は「南」、「北」、「江山」、「高草」、「湖南」、「国府」、「福部」、「佐治」、「鹿野」でとても低い。『特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合』は「北」、「湖南」、「河原」でやや低く、「南」、「江山」で低く、「桜ヶ丘」、「中ノ郷」、「福部」、「鹿野」、「青谷」でとても低い。

		鳥取市全体 (n=1,063)	東 (n=72)	西 (n=74)	南 (n=85)	北 (n=93)	江山 (n=46)	高草 (n=45)	湖東 (n=79)	湖南 (n=31)	桜ヶ丘 (n=66)
85歳以上	ボランティア参加者(月1回以上)割合	10.4	7.6	7.7	7.6	4.6	4.7	10.8	13.0	9.7	10.2
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	15.2	20.6	16.2	17.5	11.4	9.3	17.1	12.2	13.3	25.4
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	20.4	20.3	29.0	23.1	21.6	11.6	13.2	18.6	12.9	23.0
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	9.0	5.9	16.4	6.4	10.3	4.8	15.0	9.7	9.7	8.3
	通いの場参加者(月1回以上)割合	15.5	21.1	22.5	9.1	11.4	11.6	12.8	16.0	9.7	17.7
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	4.3	5.8	4.4	2.5	3.4	2.4	5.1	5.4	3.3	1.6
		中ノ郷 (n=38)	国府 (n=57)	福部 (n=34)	河原 (n=69)	用瀬 (n=55)	佐治 (n=45)	気高 (n=59)	鹿野 (n=52)	青谷 (n=63)	
85歳以上	ボランティア参加者割合	12.1	11.1	6.5	7.9	18.4	12.5	18.2	17.0	13.0	
	スポーツの会参加者割合	15.2	12.5	19.4	9.4	22.4	15.0	15.1	12.8	11.3	
	趣味の会参加者割合	23.5	16.1	12.9	17.5	33.3	22.5	13.5	24.5	20.0	
	学習・教養サークル参加者割合	12.1	8.9	6.7	1.6	12.2	11.9	13.0	10.6	1.8	
	通いの場参加者割合	18.8	12.5	10.7	17.5	19.6	11.9	21.8	12.5	16.4	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	-	9.1	-	3.3	8.2	7.3	9.1	2.1	1.9	

表3-4 社会参加(85歳以上)¹²

¹² 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

(4) 社会的ネットワーク

社会的ネットワークの状況について『鳥取市全体平均よりも割合が低い小地域』をみると、全年齢においては、『友人知人と会う頻度が高い者の割合』は「湖東」、「国府」でやや低く、「南」、「桜ヶ丘」で低く、「東」、「西」、「北」でとても低い。

65～74歳においては、『友人知人と会う頻度が高い者の割合』は「江山」でやや低く、「南」、「北」、「桜ヶ丘」で低く、「東」、「西」、「湖東」、「国府」でとても低い。

75～84歳においては、『友人知人と会う頻度が高い者の割合』は「北」、「高草」、「桜ヶ丘」で低く、「東」、「西」、「南」でとても低い。

85歳以上においては、『友人知人と会う頻度が高い者の割合』は「西」、「高草」で低く、「東」、「北」、「桜ヶ丘」、「中ノ郷」、「福部」、「鹿野」でとても低い。

	鳥取市全体 (n=7,994)	東 (n=600)	西 (n=469)	南 (n=659)	北 (n=508)	江山 (n=346)	高草 (n=462)	湖東 (n=655)	湖南 (n=297)	桜ヶ丘 (n=600)
全年齢	69.2	64.7	63.8	66.0	65.1	72.5	69.7	68.1	72.9	65.7 (%)
65～74歳	68.1	63.6	64.0	65.7	65.6	67.0	71.2	63.8	68.6	64.9
75～84歳	71.9	67.6	64.5	65.1	68.5	82.6	69.8	72.9	78.2	68.7
85歳以上	64.3	58.6	60.9	70.0	56.0	66.7	62.2	65.8	70.0	56.3
	中ノ郷 (n=435)	国府 (n=408)	福部 (n=309)	河原 (n=400)	用瀬 (n=374)	佐治 (n=269)	気高 (n=436)	鹿野 (n=363)	青谷 (n=404)	
全年齢	70.8	68.1	69.3	71.6	72.5	74.3	74.2	74.7	73.9 (%)	
65～74歳	68.1	64.0	69.2	72.3	70.8	76.3	70.4	80.1	71.3	
75～84歳	76.5	72.0	74.3	72.3	75.4	75.7	80.0	74.5	75.7	
85歳以上	58.3	70.9	51.6	68.2	71.4	63.9	70.9	58.0	77.6	

表4-1 社会的ネットワーク¹³

¹³ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

7. 保険者独自項目の調査結果

鳥取市独自の調査項目についての結果は以下のとおりである。

【問1】フレイルについて

1) 「フレイル」について知っていますか。

「フレイル」について知っているかを聞いたところ、「言葉も内容も知っている」は34.6%、「言葉は知っている」は26.0%、「知らない」は32.6%となっている。

年齢別にみると、「言葉も内容も知っている」は「85歳以上」で低い。

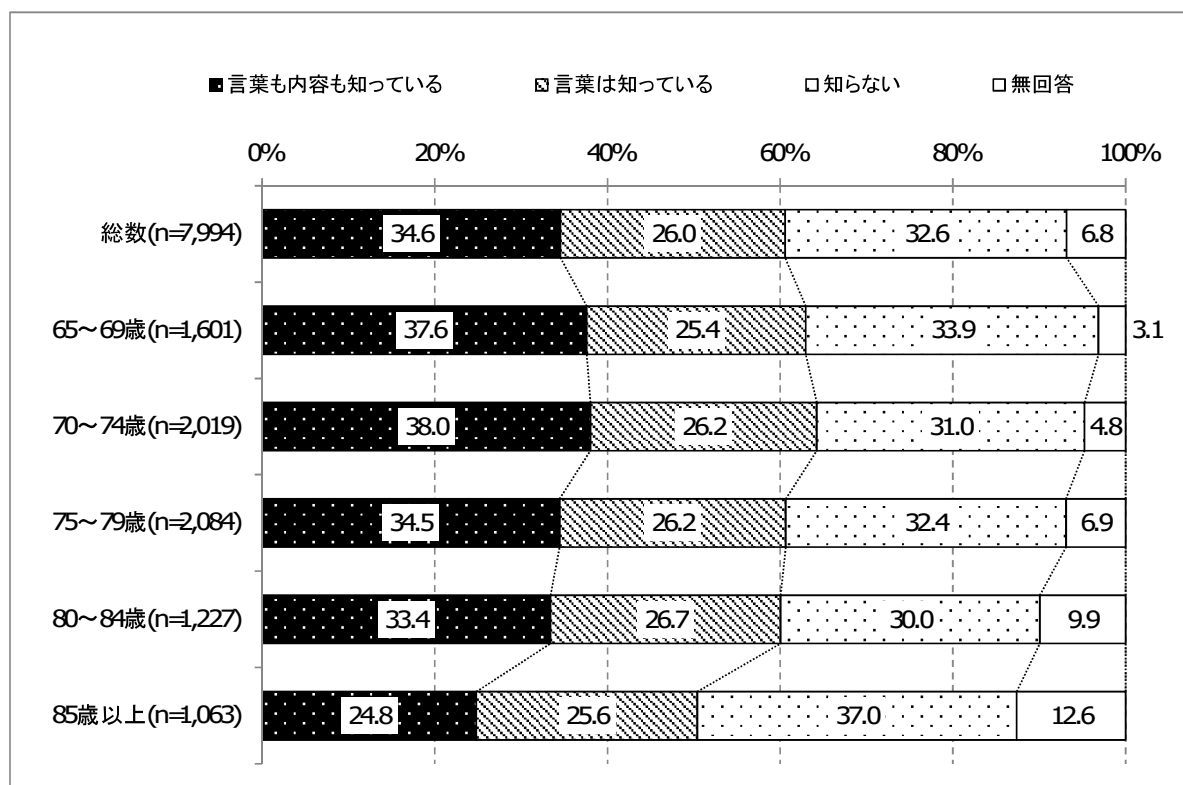


図1 「フレイル」の認知度

		サンプル 数	言葉も内 容も知っ ている	言葉は 知ってい る	知らない	無回答
総数	人数	7,994	2,762	2,080	2,606	546
	%	100.0	34.6	26.0	32.6	6.8
65～69歳	人数	1,601	602	406	543	50
	%	100.0	37.6	25.4	33.9	3.1
70～74歳	人数	2,019	768	529	626	96
	%	100.0	38.0	26.2	31.0	4.8
75～79歳	人数	2,084	718	546	676	144
	%	100.0	34.5	26.2	32.4	6.9
80～84歳	人数	1,227	410	327	368	122
	%	100.0	33.4	26.7	30.0	9.9
85歳以上	人数	1,063	264	272	393	134
	%	100.0	24.8	25.6	37.0	12.6

表1 「フレイル」の認知度

【問1】

2) フレイル予防のために取り組んでいることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

フレイル予防のために取り組んでいることを挙げてもらったところ、「定期的にはからだを動かす」(45.1%)、「たんぱく質をとるなど栄養に気をつける」(41.0%)、「歯磨きや口の体操をする」(36.7%)、「取り組んでいることはない」(21.4%)、「地域の活動に参加するなど人と交流する機会をもつ」(21.3%)などが挙げられた。

年齢別にみると、「取り組んでいることはない」は「65-69歳」で高い。

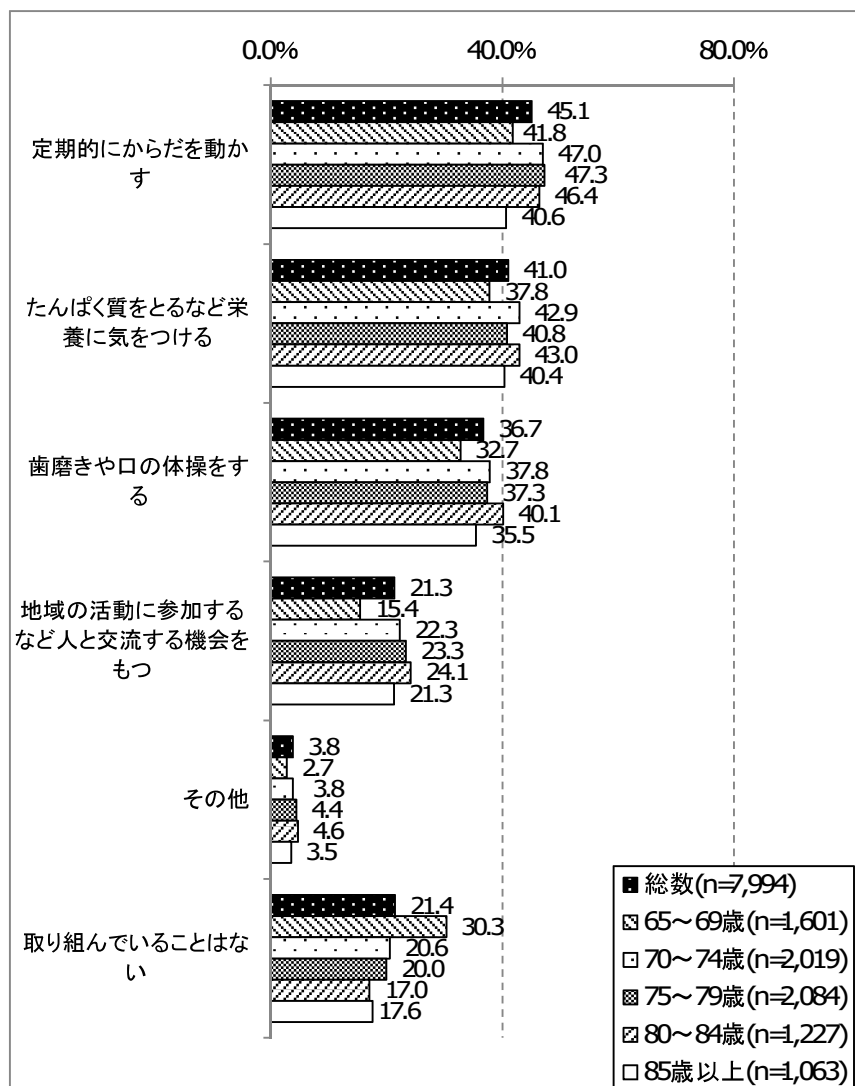


図2 フレイル予防のために取り組んでいること

		サンプル数	定期的にからだを動かす	たんぱく質をとるなど栄養に気をつける	歯磨きや口の体操をする	地域の活動に参加するなど人と交流する機会をもつ	その他	取り組んでいることはない	無回答	回答計
総数	人数	7,994	3,603	3,278	2,935	1,705	307	1,712	1,464	15,004
	%	100.0	45.1	41.0	36.7	21.3	3.8	21.4	18.3	187.7
65～69歳	人数	1,601	669	605	524	247	44	485	213	2,787
	%	100.0	41.8	37.8	32.7	15.4	2.7	30.3	13.3	174.1
70～74歳	人数	2,019	948	867	764	450	77	415	334	3,855
	%	100.0	47.0	42.9	37.8	22.3	3.8	20.6	16.5	190.9
75～79歳	人数	2,084	985	850	778	486	92	416	409	4,016
	%	100.0	47.3	40.8	37.3	23.3	4.4	20.0	19.6	192.7
80～84歳	人数	1,227	569	527	492	296	57	209	256	2,406
	%	100.0	46.4	43.0	40.1	24.1	4.6	17.0	20.9	196.1
85歳以上	人数	1,063	432	429	377	226	37	187	252	1,940
	%	100.0	40.6	40.4	35.5	21.3	3.5	17.6	23.7	182.5

表2 フレイル予防のために取り組んでいること

【問2】地域包括支援センターについて

1) 地域包括支援センターを知っていますか。また、利用したことはありますか。

地域包括支援センターを知っているか、また、利用したことはあるかを聞いたところ、「知っているし、利用したこともある」は14.6%、「知っているが利用したことはない」は47.6%、「知らない」は27.4%となっている。

年齢別にみると、「知っているし、利用したこともある」は「85歳以上」で高い。

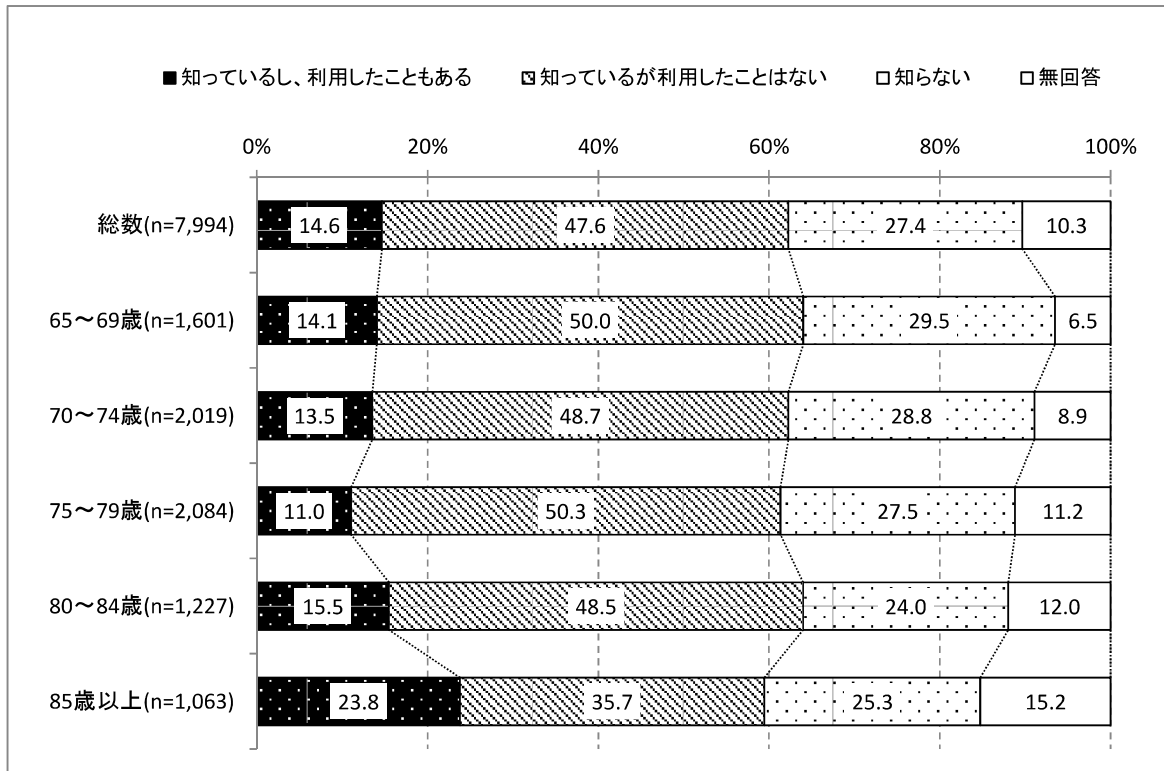


図3 地域包括支援センターの認知度と利用状況

		サンプル数	知っているし、利用したこともある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
総数	人数	7,994	1,171	3,806	2,191	826
	%	100.0	14.6	47.6	27.4	10.3
65～69歳	人数	1,601	225	800	472	104
	%	100.0	14.1	50.0	29.5	6.5
70～74歳	人数	2,019	273	984	582	180
	%	100.0	13.5	48.7	28.8	8.9
75～79歳	人数	2,084	230	1,048	573	233
	%	100.0	11.0	50.3	27.5	11.2
80～84歳	人数	1,227	190	595	295	147
	%	100.0	15.5	48.5	24.0	12.0
85歳以上	人数	1,063	253	379	269	162
	%	100.0	23.8	35.7	25.3	15.2

表3 地域包括支援センターの認知度と利用状況

【問2】

2) 1) で「2. 知っているが利用したことはない」と答えた方にお聞きします。あなたに困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思いませんか。

地域包括支援センターを知っているが利用したことはないと回答した方(3,806人)に、自分に困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思うかを聞いたところ、「相談しようと思う」は52.2%、「相談しようと思わない」は10.3%、「わからない」は33.4%となっている。年齢別にみると、大きな違いはみられない。

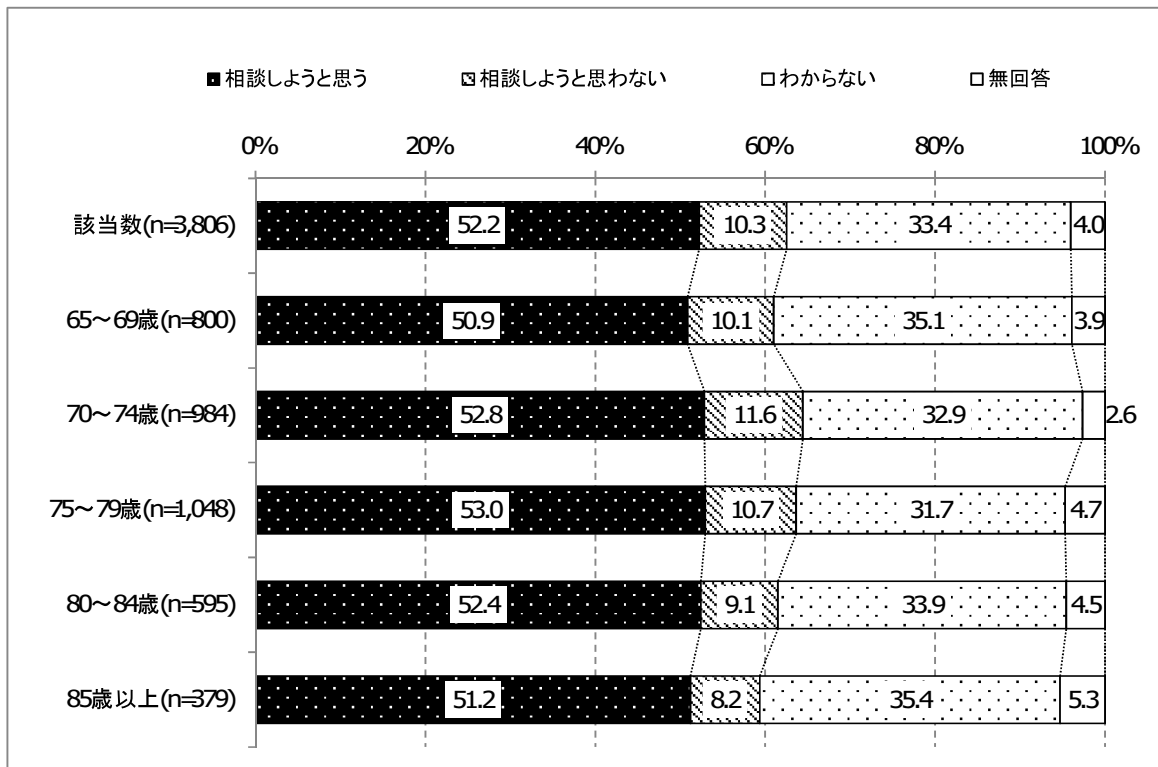


図4 自分に困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思うか

		サンプル数	相談しようと思う	相談しようと思わない	わからない	無回答
該当数	人数	3,806	1,988	392	1,273	153
	%	100.0	52.2	10.3	33.4	4.0
65~69歳	人数	800	407	81	281	31
	%	100.0	50.9	10.1	35.1	3.9
70~74歳	人数	984	520	114	324	26
	%	100.0	52.8	11.6	32.9	2.6
75~79歳	人数	1,048	555	112	332	49
	%	100.0	53.0	10.7	31.7	4.7
80~84歳	人数	595	312	54	202	27
	%	100.0	52.4	9.1	33.9	4.5
85歳以上	人数	379	194	31	134	20
	%	100.0	51.2	8.2	35.4	5.3

表4 自分に困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思うか

【問2】

3) 2) で「2. 相談しようと思わない」または「3. わからない」と答えた方にお聞きします。
 地域包括支援センターに「相談しようと思わない」または「わからない」と答えた理由にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

自分に困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに「相談しようと思わない」または「わからない」と回答した方(1,665人)に、その理由を挙げてもらったところ、「何を相談できるかわからない」(39.7%)、「相談しなくても「なんとかなる」と思う」(27.4%)、「どうやって相談するかわからない」(26.1%)、「相談しても解決しないと思う」(12.7%)、「他に相談するところがある」(12.4%)などが挙げられた。

年齢別にみると、「相談に行く手段がない」は年齢が高いほど高くなっている。

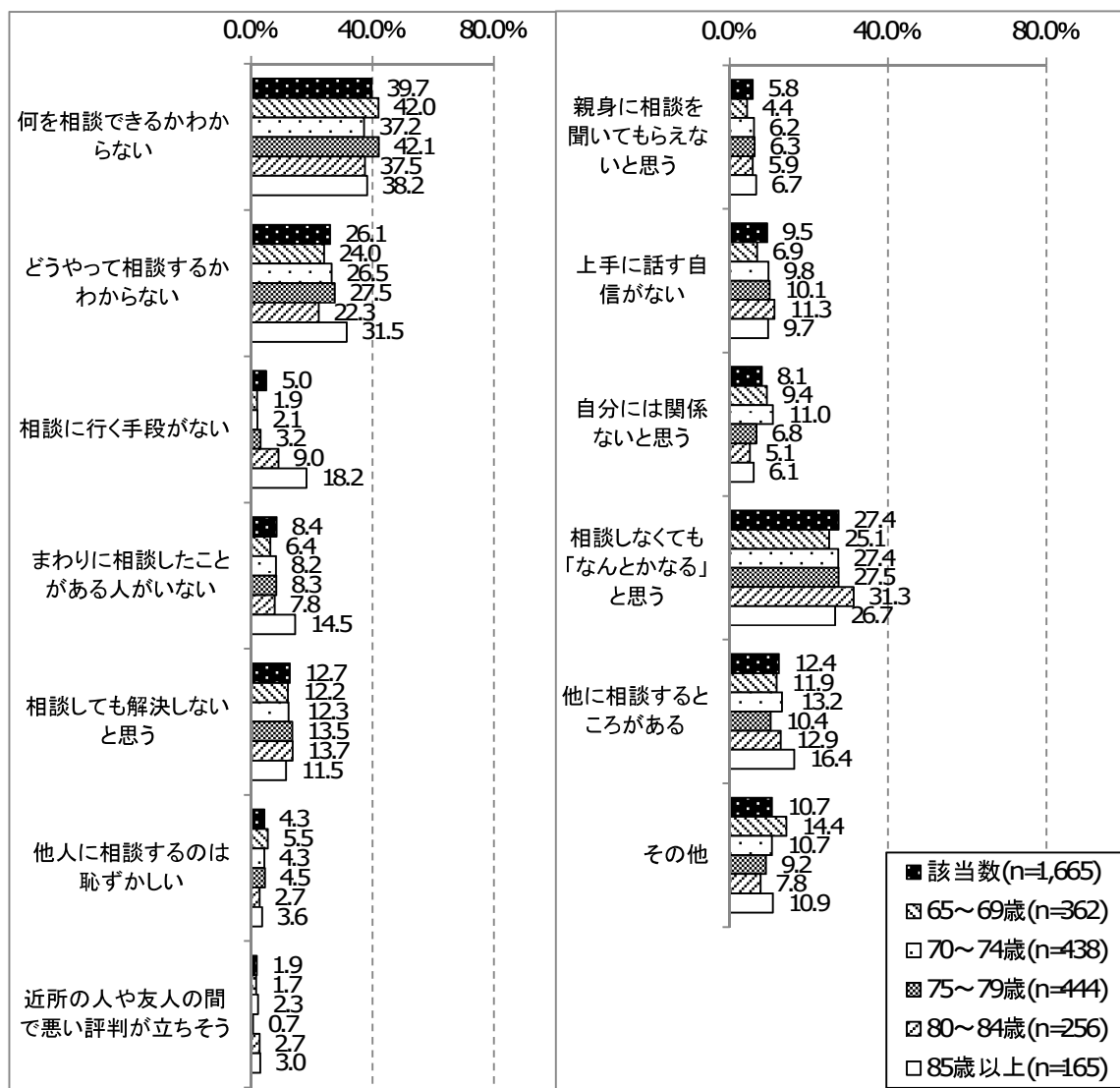


図5 地域包括支援センターに相談しようと思わない・わからないと答えた理由

		サンプル数	何を相談できるかわからない	どうやって相談するかわからない	相談に行く手段がない	まわりに相談したことがある人がいない	相談しても解決しないと思う	他人に相談するのは恥ずかしい	近所の人や友人の間で悪い評判が立ちそう
該当数	人数	1,665	661	434	83	140	212	72	31
	%	100.0	39.7	26.1	5.0	8.4	12.7	4.3	1.9
65～69歳	人数	362	152	87	7	23	44	20	6
	%	100.0	42.0	24.0	1.9	6.4	12.2	5.5	1.7
70～74歳	人数	438	163	116	9	36	54	19	10
	%	100.0	37.2	26.5	2.1	8.2	12.3	4.3	2.3
75～79歳	人数	444	187	122	14	37	60	20	3
	%	100.0	42.1	27.5	3.2	8.3	13.5	4.5	0.7
80～84歳	人数	256	96	57	23	20	35	7	7
	%	100.0	37.5	22.3	9.0	7.8	13.7	2.7	2.7
85歳以上	人数	165	63	52	30	24	19	6	5
	%	100.0	38.2	31.5	18.2	14.5	11.5	3.6	3.0
		親身に相談を聞いてもらえないと思う	上手に話さない自信がない	自分には関係ないと思う	相談しなくても「なんとかかなる」と思う	他に相談するところがある	その他	無回答	回答計
該当数	人数	97	158	135	457	207	178	144	3,009
	%	5.8	9.5	8.1	27.4	12.4	10.7	8.6	180.7
65～69歳	人数	16	25	34	91	43	52	18	618
	%	4.4	6.9	9.4	25.1	11.9	14.4	5.0	170.7
70～74歳	人数	27	43	48	120	58	47	40	790
	%	6.2	9.8	11.0	27.4	13.2	10.7	9.1	180.4
75～79歳	人数	28	45	30	122	46	41	42	797
	%	6.3	10.1	6.8	27.5	10.4	9.2	9.5	179.5
80～84歳	人数	15	29	13	80	33	20	24	459
	%	5.9	11.3	5.1	31.3	12.9	7.8	9.4	179.3
85歳以上	人数	11	16	10	44	27	18	20	345
	%	6.7	9.7	6.1	26.7	16.4	10.9	12.1	209.1

表5 地域包括支援センターに相談しようと思わない・わからないと答えた理由

【問3】認知症について

1) あなたが認知症になったとき、自分が認知症であることを周囲の人に伝えることができますか。

認知症になったとき、自分が認知症であることを周囲の人に伝えることができるか聞いたところ、「できる」は34.3%、「できない」は5.4%、「わからない」は55.1%となっている。

年齢別にみると、「できる」と「できない」は大きな違いがみられないが、「わからない」は「85歳以上」で低い。

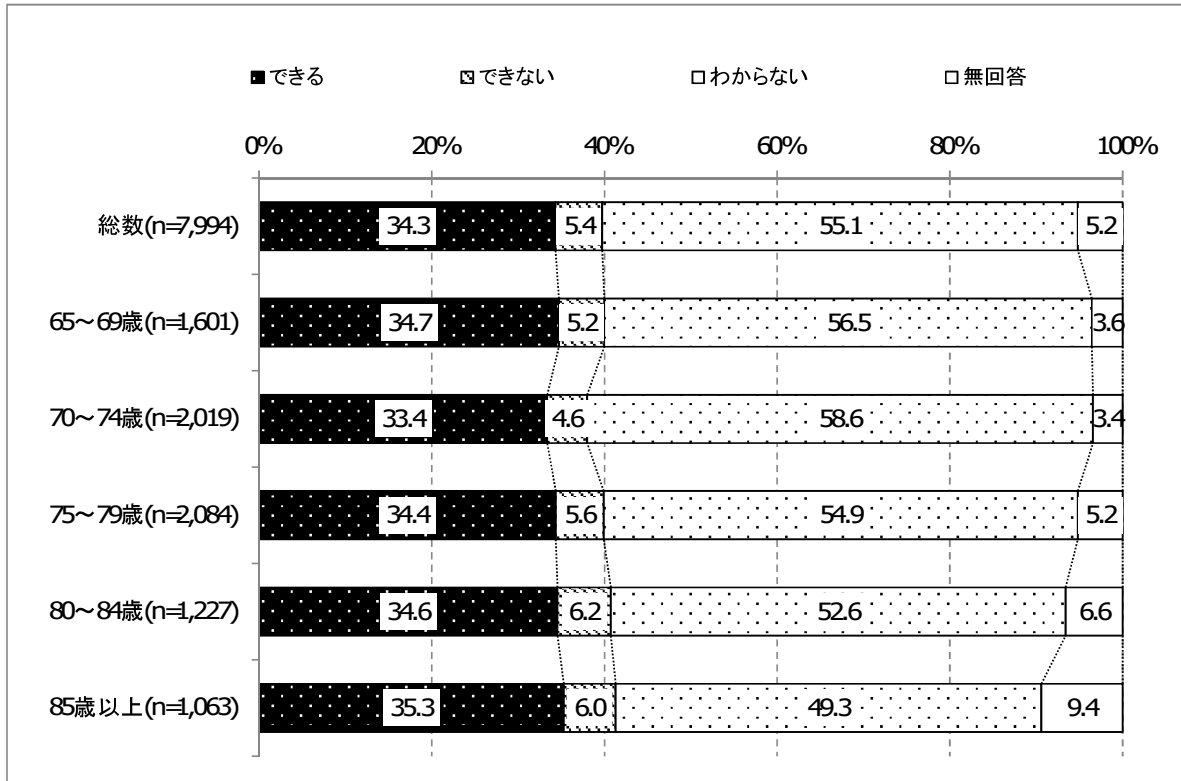


図6 自分が認知症であることを伝えることができるか

		サンプル数	できる	できない	わからない	無回答
総数	人数	7,994	2,745	433	4,401	415
	%	100.0	34.3	5.4	55.1	5.2
65～69歳	人数	1,601	556	84	904	57
	%	100.0	34.7	5.2	56.5	3.6
70～74歳	人数	2,019	674	93	1,183	69
	%	100.0	33.4	4.6	58.6	3.4
75～79歳	人数	2,084	716	116	1,144	108
	%	100.0	34.4	5.6	54.9	5.2
80～84歳	人数	1,227	424	76	646	81
	%	100.0	34.6	6.2	52.6	6.6
85歳以上	人数	1,063	375	64	524	100
	%	100.0	35.3	6.0	49.3	9.4

表6 自分が認知症であることを伝えることができるか

【問3】

2) あなたが暮らすまち（地域）は「認知症になってからも、自分らしく暮らし続けることができるまち（地域）」になりつつあると感じますか。

自身が暮らすまち（地域）は「認知症になってからも、自分らしく暮らし続けることができるまち（地域）」になりつつあると感じるか聞いたところ、「以前からそのようなまち（地域）であると思う」は5.4%、「なりつつあると思う」は23.2%、「あまり思わない」は46.1%、「思わない」は15.3%となっている。

年齢別にみると、「以前からそのようなまち（地域）であると思う」、「なりつつあると思う」は年齢が高いほど高くなっている。

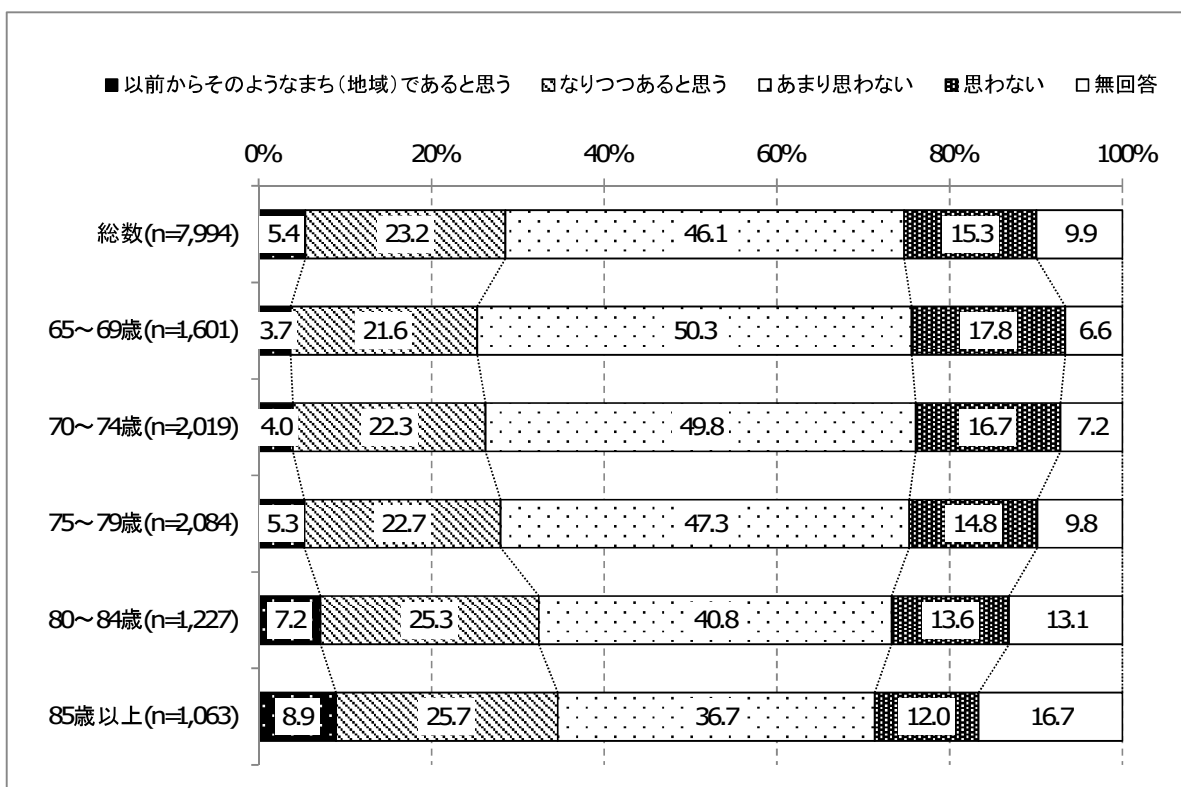


図7 認知症になっても自分らしく暮らせるまち（地域）だと思いか

		サンプル 数	以前から そのよう なまち (地域) である と思う	なりつ つある と思 う	あまり 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答	思 う (計)	思 わ な い (計)
総数	人数	7,994	432	1,853	3,688	1,227	794	2,285	4,915
	%	100.0	5.4	23.2	46.1	15.3	9.9	28.6	61.5
65～69歳	人数	1,601	59	346	805	285	106	405	1,090
	%	100.0	3.7	21.6	50.3	17.8	6.6	25.3	68.1
70～74歳	人数	2,019	80	450	1,006	338	145	530	1,344
	%	100.0	4.0	22.3	49.8	16.7	7.2	26.3	66.6
75～79歳	人数	2,084	110	474	986	309	205	584	1,295
	%	100.0	5.3	22.7	47.3	14.8	9.8	28.0	62.1
80～84歳	人数	1,227	88	310	501	167	161	398	668
	%	100.0	7.2	25.3	40.8	13.6	13.1	32.4	54.4
85歳以上	人数	1,063	95	273	390	128	177	368	518
	%	100.0	8.9	25.7	36.7	12.0	16.7	34.6	48.7

表7 認知症になっても自分らしく暮らせるまち（地域）だと思うか

【問4】アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について

1) 人生の最終段階の医療・ケアについて、自分の思いや考えをご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことをアドバンス・ケア・プランニング（ACP：人生会議）といいます。知っていますか。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を知っているかを聞いたところ、「知っている」は9.0%、「聞いたことはあるがよく知らない」は22.8%、「知らない」は62.2%となっている。年齢別にみると、「知らない」は年齢が低いほど高くなっている。

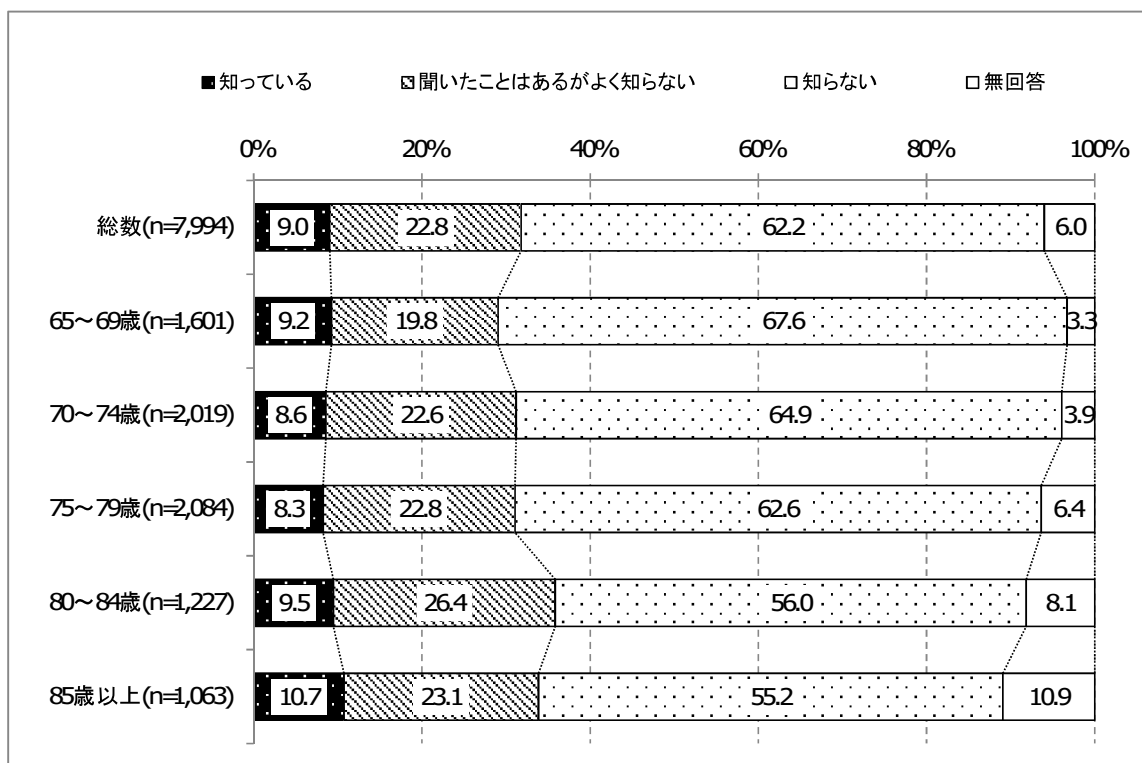


図8 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度

		サンプル数	知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない	無回答
			人数	人数	人数	人数
総数	人数	7,994	723	1,819	4,971	481
	%	100.0	9.0	22.8	62.2	6.0
65～69歳	人数	1,601	148	317	1,083	53
	%	100.0	9.2	19.8	67.6	3.3
70～74歳	人数	2,019	173	457	1,310	79
	%	100.0	8.6	22.6	64.9	3.9
75～79歳	人数	2,084	172	475	1,304	133
	%	100.0	8.3	22.8	62.6	6.4
80～84歳	人数	1,227	116	324	687	100
	%	100.0	9.5	26.4	56.0	8.1
85歳以上	人数	1,063	114	246	587	116
	%	100.0	10.7	23.1	55.2	10.9

表8 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度

【問4】

2) もし回復の見込みのない病気（状態）になったとき、あなたならどうしてほしいですか。

もし回復の見込みのない病気（状態）になったとき、どうしてほしいかを聞いたところ、「少しでも延命できるよう、あらゆる治療をしてほしい」は2.5%、「延命目的の治療はせず自然にまかせてほしい」は35.0%、「苦痛を少なくすることを重視したい」は32.6%、「今はわからない」は27.8%となっている。

年齢別にみると、「苦痛を少なくすることを重視したい」は「65-69歳」で高い。

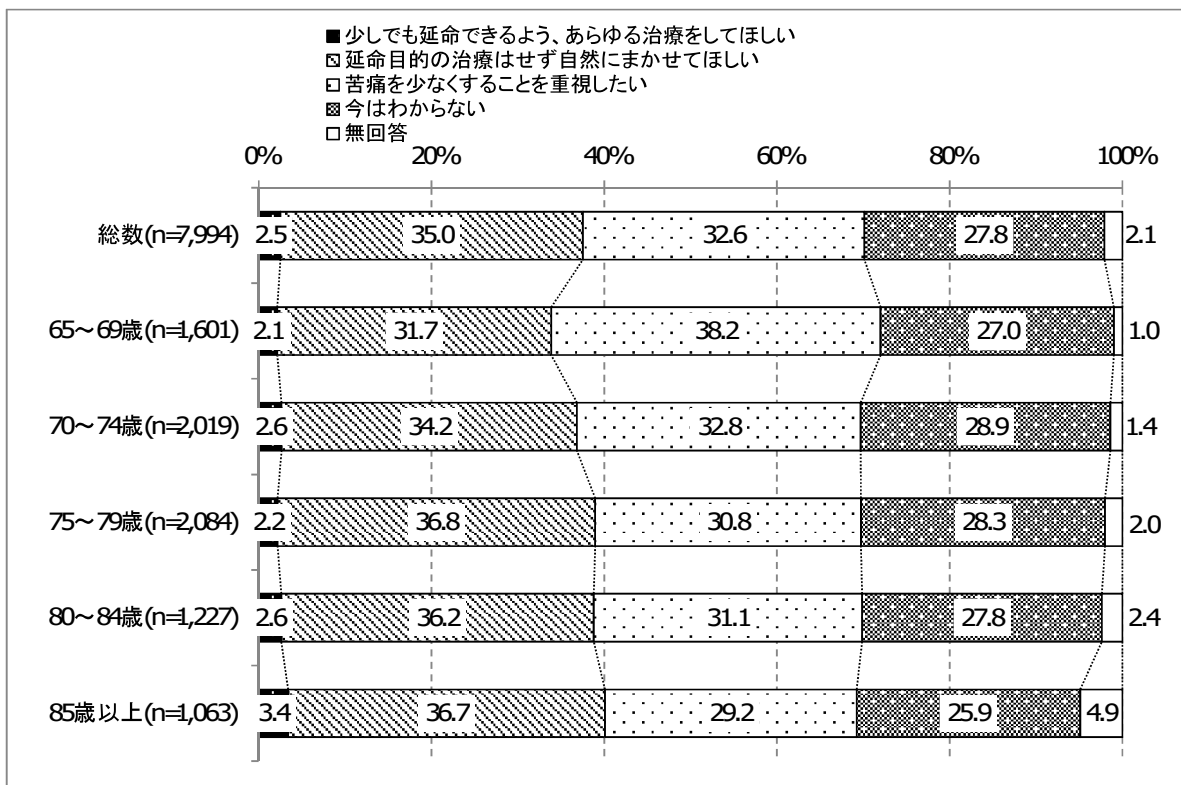


図9 回復の見込みのない病気（状態）になったとき、どうしてほしいか

		サンプル数	少しでも延命できるよう、あらゆる治療をしてほしい	延命目的の治療はせず自然にまかせてほしい	苦痛を少なくすることを重視したい	今はわからない	無回答
総数	人数	7,994	200	2,800	2,606	2,221	167
	%	100.0	2.5	35.0	32.6	27.8	2.1
65～69歳	人数	1,601	34	508	611	432	16
	%	100.0	2.1	31.7	38.2	27.0	1.0
70～74歳	人数	2,019	53	691	663	584	28
	%	100.0	2.6	34.2	32.8	28.9	1.4
75～79歳	人数	2,084	45	767	641	589	42
	%	100.0	2.2	36.8	30.8	28.3	2.0
80～84歳	人数	1,227	32	444	381	341	29
	%	100.0	2.6	36.2	31.1	27.8	2.4
85歳以上	人数	1,063	36	390	310	275	52
	%	100.0	3.4	36.7	29.2	25.9	4.9

表9 回復の見込みのない病気（状態）になったとき、どうしてほしいか

【問5】聞こえについて

1) 日常生活における聞こえの状態についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

日常生活における聞こえの状態について挙げてもらったところ、「会話のときによく聞き返す」(27.6%)、「耳鳴りがある」(22.9%)、「聞き間違いをすることが多い」(19.4%)、「家族などから話し声が大きいと言われる」(14.3%)などが挙げられた。なお、「上記1～7の状態に該当するものはない」は39.8%となっている。

年齢別にみると、「会話のときによく聞き返す」、「後ろから呼びかけられると気づかない」などは年齢が高いほど高くなっている。

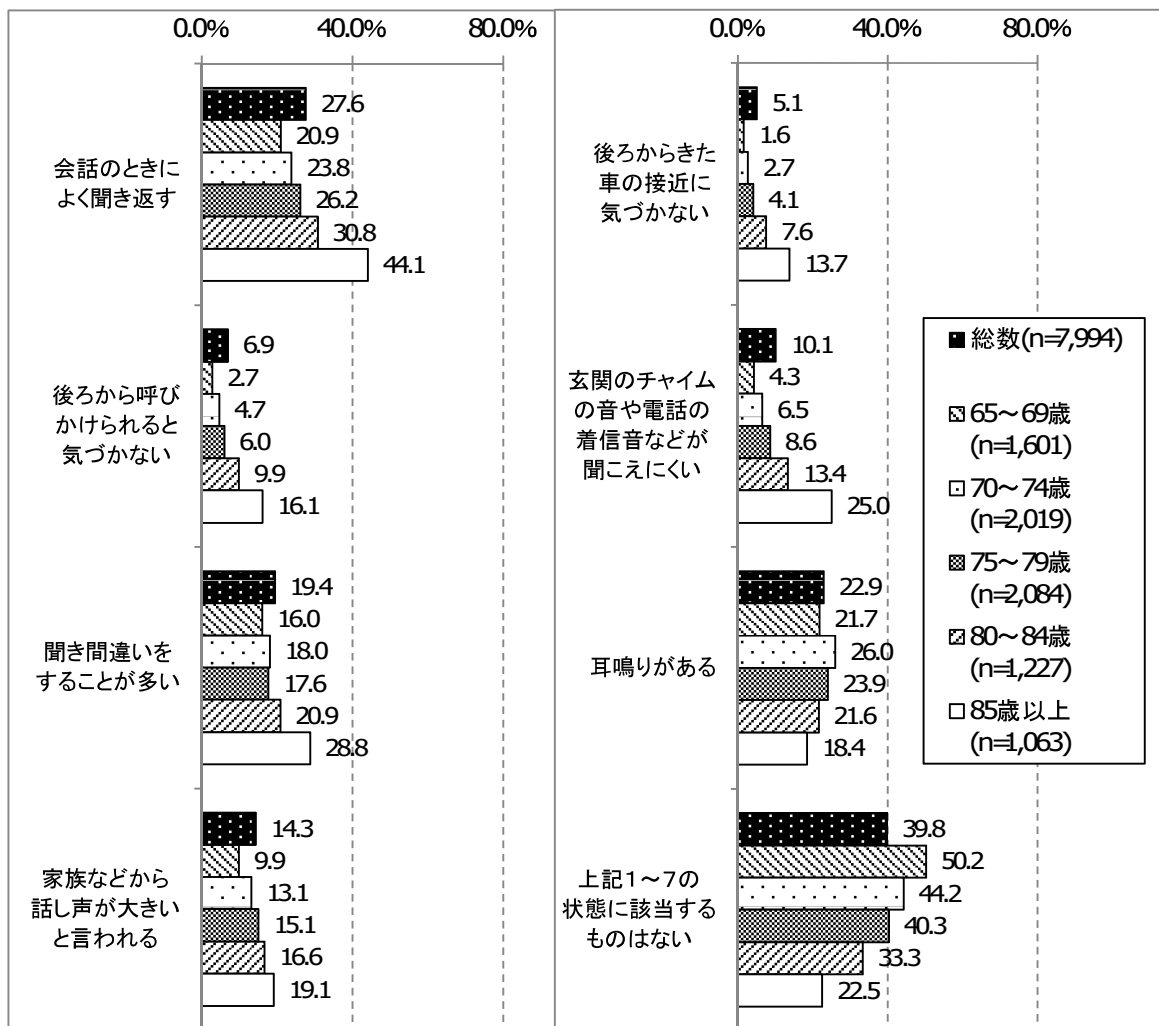


図10 日常生活における聞こえの状態

		サンプル 数	会話のときによく聞き返す	後ろから呼びかけられると気づかない	聞き間違いをすることが多い	家族などから話し声が大きいと言われる	後ろからきた車の接近に気づかない
総数	人数	7,994	2,208	555	1,549	1,144	404
	%	100.0	27.6	6.9	19.4	14.3	5.1
65～69歳	人数	1,601	335	44	256	158	25
	%	100.0	20.9	2.7	16.0	9.9	1.6
70～74歳	人数	2,019	481	94	364	265	54
	%	100.0	23.8	4.7	18.0	13.1	2.7
75～79歳	人数	2,084	545	125	367	314	86
	%	100.0	26.2	6.0	17.6	15.1	4.1
80～84歳	人数	1,227	378	121	256	204	93
	%	100.0	30.8	9.9	20.9	16.6	7.6
85歳以上	人数	1,063	469	171	306	203	146
	%	100.0	44.1	16.1	28.8	19.1	13.7
		玄関のチャイムの音や電話の着信音などが聞こえにくい	耳鳴りがある	上記1～7の状態に該当するものはない	無回答	回答計	
総数	人数	810	1,833	3,184	417	12,104	
	%	10.1	22.9	39.8	5.2	151.4	
65～69歳	人数	69	348	804	49	2,088	
	%	4.3	21.7	50.2	3.1	130.4	
70～74歳	人数	132	525	892	68	2,875	
	%	6.5	26.0	44.2	3.4	142.4	
75～79歳	人数	179	499	840	112	3,067	
	%	8.6	23.9	40.3	5.4	147.2	
80～84歳	人数	164	265	409	88	1,978	
	%	13.4	21.6	33.3	7.2	161.2	
85歳以上	人数	266	196	239	100	2,096	
	%	25.0	18.4	22.5	9.4	197.2	

表 10 日常生活における聞こえの状態

【問5】

2) これまでに補聴器を利用したことはありますか。

これまでに補聴器を利用したことはあるかを聞いたところ、「現在、利用している」は6.5%、「以前利用していたが、今は利用していない」は1.8%、「利用したことはない」は88.6%となっている。

年齢別にみると、「現在、利用している」、「以前利用していたが、今は利用していない」は年齢が高いほど高くなっている。

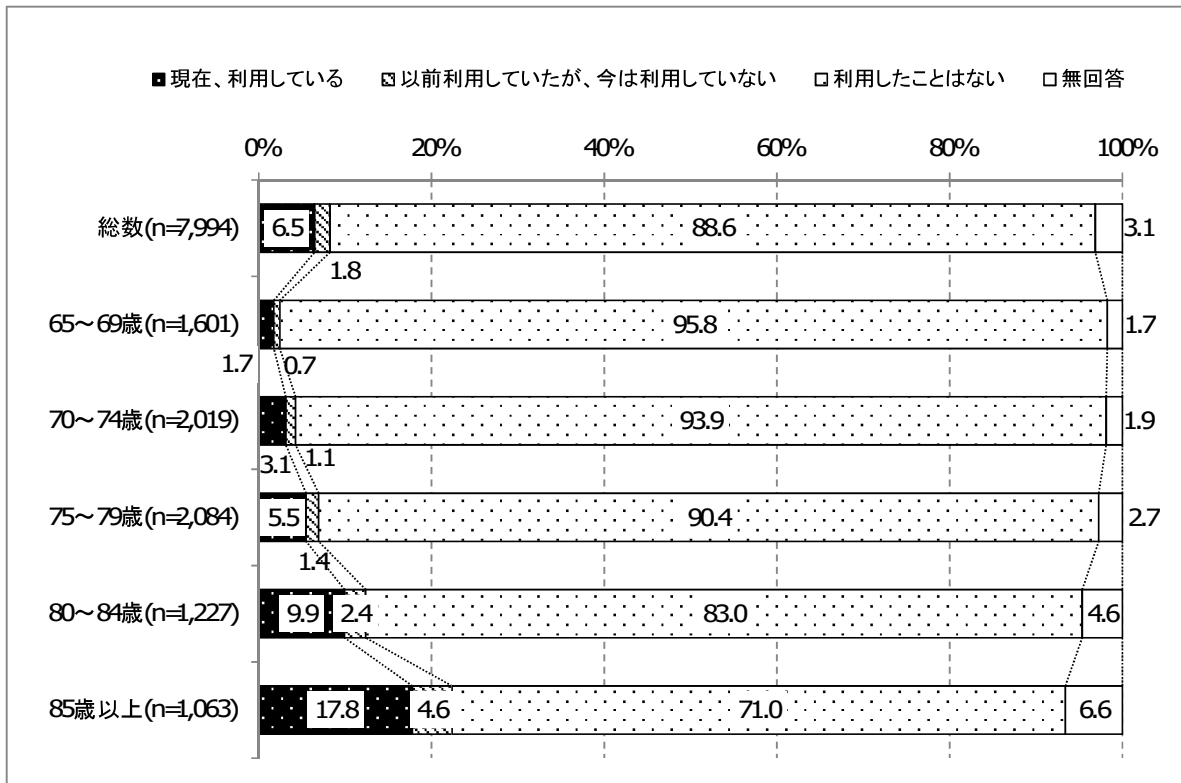


図 11 補聴器の利用経験

	サンプル数	現在、利用している	以前利用していたが、今は利用していない	利用したことはない	無回答
		人数	人数	人数	人数
総数	人数	7,994	516	143	7,085
	%	100.0	6.5	1.8	88.6
65～69歳	人数	1,601	28	11	1,534
	%	100.0	1.7	0.7	95.8
70～74歳	人数	2,019	63	23	1,895
	%	100.0	3.1	1.1	93.9
75～79歳	人数	2,084	114	30	1,883
	%	100.0	5.5	1.4	90.4
80～84歳	人数	1,227	122	30	1,018
	%	100.0	9.9	2.4	83.0
85歳以上	人数	1,063	189	49	755
	%	100.0	17.8	4.6	71.0

表 11 補聴器の利用経験

【問5】

3) 2) で「1. 現在、利用している」または「2. 以前利用していたが、今は利用していない」と答えた方にお聞きします。補聴器を利用するきっかけについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

補聴器を「現在、利用している」または「以前利用していたが、今は利用していない」と回答した方(659人)に、補聴器を利用するきっかけを挙げてもらったところ、「聞こえの状態が悪くなった」(63.1%)、「医療機関の聴力検査」(33.2%)、「補聴器販売店等での聴力検査」(23.5%)、「家族・友人に勧められた」(22.2%)、「健康相談会など」(0.3%)となっている。

年齢別にみると、「聞こえの状態が悪くなった」は「65-69歳」、「70-74歳」で、「家族・友人に勧められた」は「80-84歳」で、「医療機関の聴力検査」は「65-69歳」で高い。

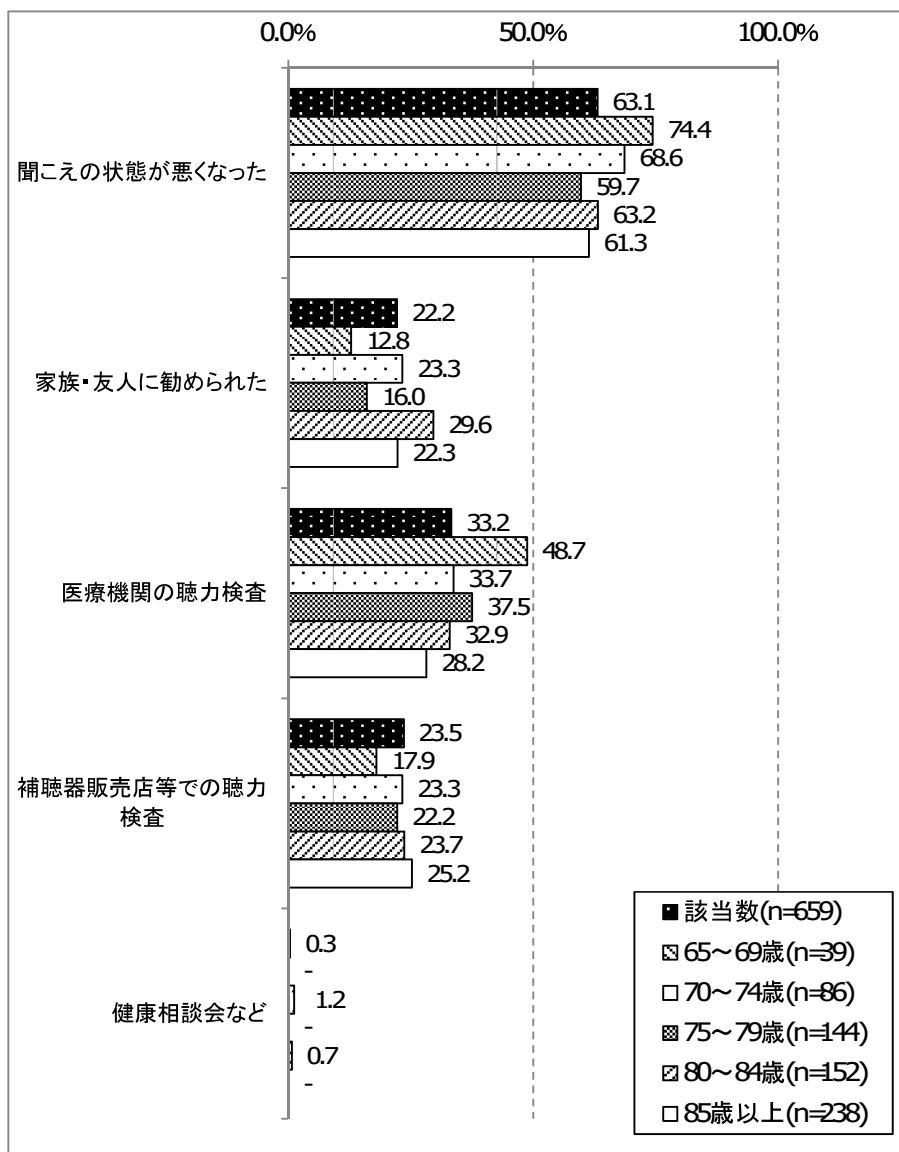


図12 補聴器を利用するきっかけ

		サンプル数	聞こえの状態が悪くなった	家族・友人に勧められた	医療機関の聴力検査	補聴器販売店等での聴力検査	健康相談会など	無回答	回答計
該当数	人数	659	416	146	219	155	2	98	1,036
	%	100.0	63.1	22.2	33.2	23.5	0.3	14.9	157.2
65～69歳	人数	39	29	5	19	7	0	2	62
	%	100.0	74.4	12.8	48.7	17.9	-	5.1	159.0
70～74歳	人数	86	59	20	29	20	1	12	141
	%	100.0	68.6	23.3	33.7	23.3	1.2	14.0	164.0
75～79歳	人数	144	86	23	54	32	0	25	220
	%	100.0	59.7	16.0	37.5	22.2	-	17.4	152.8
80～84歳	人数	152	96	45	50	36	1	20	248
	%	100.0	63.2	29.6	32.9	23.7	0.7	13.2	163.2
85歳以上	人数	238	146	53	67	60	0	39	365
	%	100.0	61.3	22.3	28.2	25.2	-	16.4	153.4

表 12 補聴器を利用するきっかけ

【問5】

4) 補聴器を利用したときの聞こえの状態等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

補聴器を「現在、利用している」または「以前利用していたが、今は利用していない」と回答した方（659人）に、補聴器を利用したときの聞こえの状態等について挙げてもらったところ、「聞こえないことがたまにある」（53.1%）、「よく聞こえ満足している」（28.2%）、「購入したが利用していない」（14.7%）、「買い替え（調整）を考えている」（11.4%）、「聞こえの状態が悪くても問題ない（必要性がない）」（7.9%）などが挙げられた。

年齢別にみると、「よく聞こえ満足している」は「65-69歳」で高い。

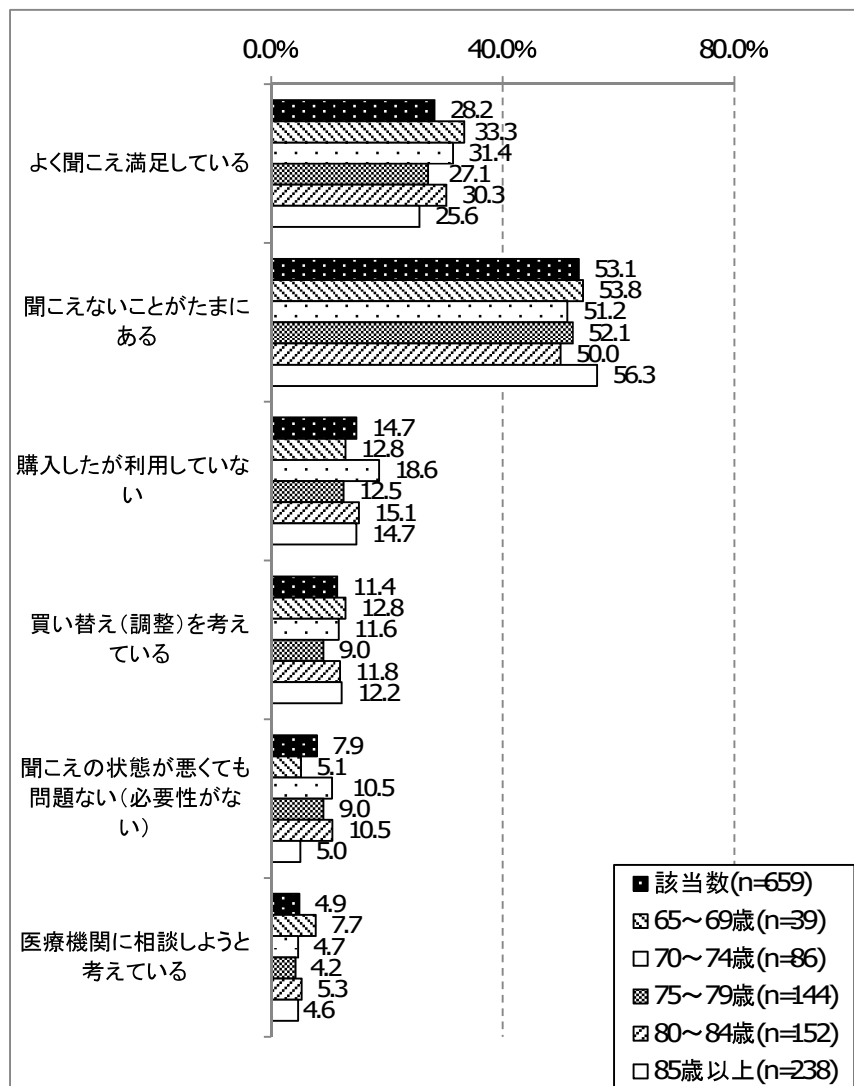


図13 補聴器を利用したときの聞こえの状態等

		サンプル数	よく聞こえ満足している	聞こえないことがある	購入したことが利用していない	買い替え（調整）を考えている	聞こえの状態が悪くても問題ない（必要性がない）	医療機関に相談しようと考えている	無回答	回答計
該当数	人数	659	186	350	97	75	52	32	38	830
	%	100.0	28.2	53.1	14.7	11.4	7.9	4.9	5.8	125.9
65～69歳	人数	39	13	21	5	5	2	3	2	51
	%	100.0	33.3	53.8	12.8	12.8	5.1	7.7	5.1	130.8
70～74歳	人数	86	27	44	16	10	9	4	4	114
	%	100.0	31.4	51.2	18.6	11.6	10.5	4.7	4.7	132.6
75～79歳	人数	144	39	75	18	13	13	6	11	175
	%	100.0	27.1	52.1	12.5	9.0	9.0	4.2	7.6	121.5
80～84歳	人数	152	46	76	23	18	16	8	9	196
	%	100.0	30.3	50.0	15.1	11.8	10.5	5.3	5.9	128.9
85歳以上	人数	238	61	134	35	29	12	11	12	294
	%	100.0	25.6	56.3	14.7	12.2	5.0	4.6	5.0	123.5

表 13 補聴器を利用したときの聞こえの状態等

【問5】

5) 2) で「3. 利用したことはない」と答えた方にお聞きします。補聴器の利用等についてどう思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

補聴器を「利用したことはない」と回答した方(7,085人)に、補聴器の利用等についてどう思うか挙げてもらったところ、「聞こえの状態が悪くなったら利用したい」(64.4%)、「医療機関に勧められたら利用する」(38.0%)、「家族・友人に勧められたら利用する」(19.1%)、「補聴器は高価なもの」(13.8%)、「聞こえの状態が悪くても利用しようと思わない(必要性がない)」(7.1%)などが挙げられた。

年齢別にみると、「聞こえの状態が悪くても利用しようと思わない(必要性がない)」は年齢が高いほど高くなっている。

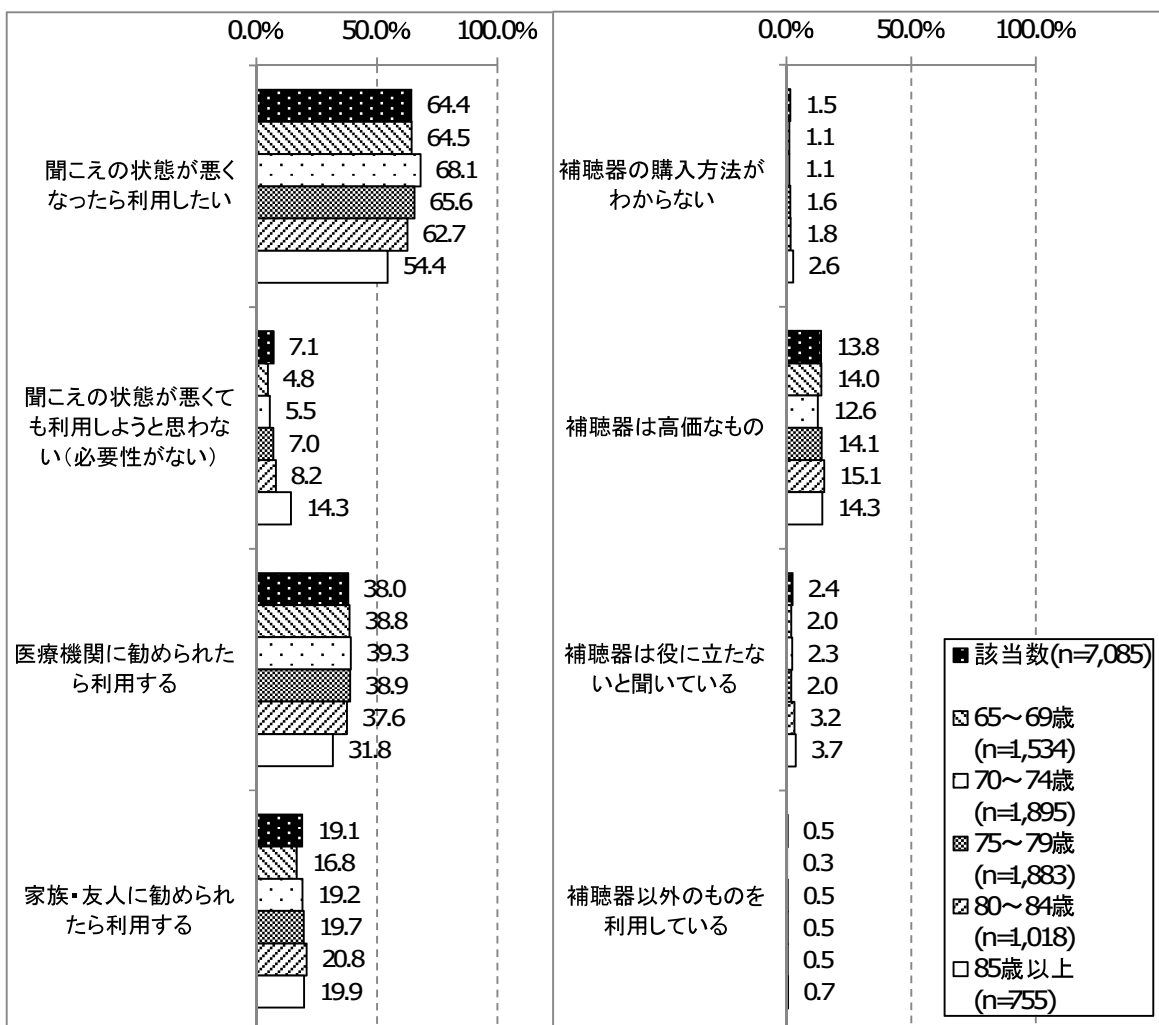


図14 補聴器の利用等についてどう思うか

		サンプル数	聞こえの状態が悪くなったら利用したい	聞こえの状態が悪くても利用しようと思わない(必要性がない)	医療機関に勧められたら利用する	家族・友人に勧められたら利用する	補聴器の購入方法がわからない
該当数	人数	7,085	4,564	502	2,695	1,354	105
	%	100.0	64.4	7.1	38.0	19.1	1.5
65～69歳	人数	1,534	989	74	595	258	17
	%	100.0	64.5	4.8	38.8	16.8	1.1
70～74歳	人数	1,895	1,291	105	744	363	20
	%	100.0	68.1	5.5	39.3	19.2	1.1
75～79歳	人数	1,883	1,235	132	733	371	30
	%	100.0	65.6	7.0	38.9	19.7	1.6
80～84歳	人数	1,018	638	83	383	212	18
	%	100.0	62.7	8.2	37.6	20.8	1.8
85歳以上	人数	755	411	108	240	150	20
	%	100.0	54.4	14.3	31.8	19.9	2.6
		補聴器は高価なもの	補聴器は役に立たないと聞いている	補聴器以外のものを利用している	無回答	回答計	
該当数	人数	981	173	33	314	10,721	
	%	13.8	2.4	0.5	4.4	151.3	
65～69歳	人数	214	30	4	43	2,224	
	%	14.0	2.0	0.3	2.8	145.0	
70～74歳	人数	239	44	10	53	2,869	
	%	12.6	2.3	0.5	2.8	151.4	
75～79歳	人数	266	38	9	84	2,898	
	%	14.1	2.0	0.5	4.5	153.9	
80～84歳	人数	154	33	5	66	1,592	
	%	15.1	3.2	0.5	6.5	156.4	
85歳以上	人数	108	28	5	68	1,138	
	%	14.3	3.7	0.7	9.0	150.7	

表 14 補聴器の利用等についてどう思うか

